

平成 26 年 9 月 19 日

木づかいガイドライン作成関連資料

当面の活動

① 木づかいガイドライン作成

市民の視点から「さあ~しよう」の形を基本形とし、市民がアクションを起せる木づかいガイドラインを作成する

「さあ~しよう」（木の魅力と楽しみ=継続に導く）

ブレインストーミングの内容を思い出し、「さあ~しよう」の形で市民を起動させてください。

ヒント

- 自分の感動場面をプレゼントする
- 今の自分ストーリーの原点をプレゼントする
- やっぱりこうでなきゃあーと力強く誘う
- 自分の好きでたまらないこと・面白いことに誘う
- 自分の素晴らしい体験に誘う
- 自分の嗜好・思考に誘う
- これだけは知っていて、絶対体験してと誘う
- 森や川の素晴らしい場所に誘う
- 素晴らしい活動を紹介する
- 楽しい木の工作を語って強く誘う
- 素晴らしい人を紹介する
- 素晴らしい本を紹介する

大原則

- ・人は快樂を求めて動く
- ・人は苦痛から逃れるために動く

ポイント

- ・人は自分独自の必要性のあるものに惹かれる
- ・人は自分独自の必要性あるものと欲しいものが一致した時、強いアクションを起す
- ・商品そのものを売るよりか、それを好きそうな人を集めて色々仕掛けた方が合理的

●森や木とそれを育む矢作川の流れと共に生きるライフスタイルへの誘い 矢作川ディズ

ポイント

- ① さあ~しようの形で「木づかいガイドライン」を考える
- ② さあ~しようの形で現在行われているものを整理する
- ③ 山村に関連する様々な立場の方々の実践を整理する
- ④ ライフステージ別アタック表により取り組みを統一的に見える化する
- ⑤ センスオブワンダー（自然の神秘・不思議等を感じる心）の場面を重視する

② 木づかい推進活動の実践

矢作川流域市民がライフスタイル的に参加し継続できる「矢作川ディズ」な森や木づかいの楽しみ空間や活動を、山部会に参加する私たちがそれぞれの立場を活用して、意図的・戦略的に発掘し、そして創りだし、紹介する

根羽村の木づかい推進活動

・スギダラ活動開始（スギダラ矢作川流域支部設立に向けて）

日 時 平成 26 年 9 月 19 日(金) 15:00～17:00

場 所 根羽村老人福祉施設「しゃくなげ」

内 容 全国スギダラ倶楽部 若杉浩一さん講演

「ソウルフルな木づかいからビューティフルな森づくり村づくりを」

その後 事例紹介とディスカッション

コーディネイター 山部会副会長 丹羽さん

・信州木材活用モデル地域活動支援事業（2,500 千円）

中房温泉に家族風呂・グリーンハウス森沢に露天風呂と足湯設置

・長野県地域発元気づくり支援金事業（2,800 千円）

木づかい推進バスツアー4 回実施

メッセナゴヤ 2014 「小さく住まう家」出展・南信州の木づかい取組み発表

木育アイテムの試作

愛知・岐阜・長野 3 県による木づかい推進シンポジウム開催

木のある暮らし講座ホームページ開設

・信州大学農学部・根羽村地域連携協定（総額 1,800 千円）

遊休農地と里山森林の一体的活用に向けた取り組み

木づかいガイドライン 「さあ~しよう」のフォーマット（市民編案）

区 分		内 容			
さあ~しようのテーマ					
いつ					
どこで (位置図)					
内 容					
対象者					
対応する者					
面白い点 魅力的なところ					
必要な時間					
必要な金額					
準備するもの					
イメージ（映像）					
お薦めポイントは					
参加者からのレビュー					
対象年齢	衝撃度	神秘度	リピーター率	安全性	ステージ表

木づかいガイドライン 「さあ~しよう」のフォーマット（市町村編案）

区 分		内 容		
さあ~しようのテーマ				
内 容				
対 象 者				
対象者の条件				
魅力的なところ				
必要な時間				
必要な金額				
準備するもの				
イメージ（映像）				
お薦めポイントは				
利用者からのレビュー				
対象年齢	衝撃度	やってよかった度	他県普及性	市民貢献度

木づかいガイドライン 「さあ~しよう」のフォーマット（業界編案）

区 分		内 容		
さあ~しようのテーマ				
内 容				
対 象 者				
対象者の条件				
魅力的なところ				
必要な時間				
必要な金額				
必要なメンテナンス				
イメージ（映像）				
お薦めポイントは				
利用者からのレビュー				
対象年齢	衝撃度	やってよかった度	他県普及性	市民貢献度

木づかいガイドライン 「さあ~しよう」のフォーマット（研究者編案）

区 分		内 容		
さあ~しようのテーマ				
内 容				
対 象 者				
研究の魅力的なところ				
必要な時間				
事 業 費				
イメージ（映像）				
研究のお薦めポイントは				
研究者からのレビュー				
市民貢献度	衝撃度	おすすめ度	他県普及性	発展性

木づかいガイドライン 市民編A (案)

NO	内 容	提案者
1	弓矢づくりにチャレンジしよう	ネバリン
2	自分の好きな木のペンダントを作ってみよう	〃
3	自分でマイお箸を作ってみよう	〃
4	自分のお家の木の表札づくりチャレンジしてみよう	〃
5	自分の好きな板をピカピカに磨いて自分だけの宝物にしてみよう	〃
6	自分で薪を作ってドラム缶風呂を沸かし湯につかろう	〃
7	木の葉っぱで部屋の匂いをよくしてみよう	〃
8	木のカルタ取りにチャレンジしよう	〃
9	自分のマイツリーを見つけて名前をつけよう	〃
10	いよいよ自分で森づくりにチャレンジしよう	〃
11	木の幹にハンモックを吊るして涼しく昼寝してみよう(ハンモック店)	〃
12	ツリーハウスに遊びに行こう	〃
13	自分だけの露天風呂と足湯を手に入れよう	〃
14	自分のお風呂に木を浮かべて香りを楽しもう	〃
15	日本の代表 50 種の樹木を覚えよう (葉の標本づくりにチャレンジ)	〃
16	自然の生き物観察場所の看板を立てよう	〃
17	日本人なら木のお風呂のある温泉につかろう (中房温泉)	〃
18	チェンソーアートを学ぼう	〃
19	色々な木のおもちゃづくりや木工工作にチャレンジしよう	〃
20	きれいな川で遊ぼう	〃
21	自分だけの滝に道を開けてマイナスイオンを浴びよう	〃
22	木のある公園のウッドデッキで読書しよう (ブックレビューもつくろう)	〃
23	木と森のある素晴らしい大学に遊びに行こう (信州大学農学部ゆりのき)	〃
24	筏で川下りにチャレンジしてみよう	〃
25	木のアンテナショップに遊びに行こう	〃
26	スギダラチームメイトになってあらゆる生活空間をスギダラけにしよう	〃
27	夜空を見上げ星と森の声聴こう	〃
28	子供のための木の科学実験を楽しもう	〃
29	自分達の手で山の木を搬出して地域通貨を手に入れよう	〃
30	自分達の手で豊田から根羽まで縦走路を整備して休憩小屋を建てよう	〃
31	自分で取り組んだ森の健康診断を活用しよう	〃
32	木のお店案内ブックをつくろう	〃
33	木の小屋においでよ (中村好文さんと連携)	〃

木づかいガイドライン 県・市町村編B (案)

NO	内 容	提案者
1	山主森林経営講座に参加して自分の山を管理の仕方を学ぼう	豊田市
2	森林自然観察リーダー入門講座に参加して自然観察の基本を学ぼう	〃
3	間伐ボランティア初級講座に参加してチェーンソーによる間伐を学ぼう	〃
4	山主自力間伐講座に参加してチェーンソーを使って自分の山を間伐しよう	〃
5	セミプロ林業作業員養成講座に参加して林業就業者を目指そう	〃
6	森林セミナーに参加して色々な森林を歩きながら森林管理を学ぼう	〃
7	矢作川源流の森ウォーキングに参加して源流域の動植物を観察しよう	〃
8	夏休み昆虫観察に参加して森の生き物の生活や不思議さを体験しよう	〃
9	初めての間伐体験に参加して簡単にできる間伐を学ぼう	〃
10	森林調査いろいろ学習会に参加して植生・林分・土壌調査の基本を学ぼう	〃
11	「木づかい」いろいろ発見に参加して原木きのこの菌打ちを体験しよう	〃
12	森林の草花調べに参加して高原・山地・丘陵の草花を学ぼう	〃
13	間伐してベンチの製作まで全工程を自分達で行い、公共施設に寄付しよう	〃
14	様々な山の助成金制度を活用して自分の山づくりに取り組もう	市町村
15	様々な木の家づくりの助成金制度を活用して地元の木で家を建てよう	〃
16	地元の木を使った住宅見学会に参加して地元の木で家を建てよう	〃
17	木造公共施設を訪ねて木の使い方を参考にしよう	〃
18	各地で取り組まれている間伐材利用事例を参考に矢作川流域材を活用しよう	〃
19	根羽スギの家モデル住宅に体験宿泊して木の家を楽しもう	〃
20	長野県地域発元気づくり支援金事業に応募して皆のふるさとを作ろう	長野県
21	根羽村地域発元気づくり支援金事業に応募して皆のふるさとを作ろう	根羽村
22	根羽スギ柱材 50 本無償提供事業を使って有利に根羽スギ住宅を建てよう	〃
23	市町村有林を使って新しい森づくりにチャレンジしよう(伐採・造林一貫施業)	〃
24	市町村有林を使って子供たちに間伐を教えよう	〃
25	皆で憩いの森の木道・木橋づくりにチャレンジしよう	〃
26	都市の中心部に緑の憩いの公園を計画してつくろう(豊田市・番外飯田市)	豊田市
27	長野県 信州型エコ住宅推進事業 50～80 万円の助成	長野県
28	長野県 信州型住宅リフォーム促進事業 20～50 万円の助成	〃
29	岐阜県 産直住宅建設支援制度 105,000 円相当の木材支給	岐阜県
30	岐阜県 ぎふの木で家づくり支援事業 20 万円の助成	〃
31	岐阜県 ぎふの木で内装木質化支援事業 10 万円の助成	〃
32	岐阜県 ぎふの木で家づくりローン支援制度 優遇金利による支援	〃
33	愛知県 あいち認証材利用促進事業 構造材・造作材等 8,000 円/m ³ の助成	愛知県

木づかいガイドライン 業界編C (案)

NO	内 容	提案者
1	君も人生の方針として自然科学や農林業を選択しよう	森林組合
2	君も、自分が主役になれるクリエイティブ産業・農林業の担い手になって地域を元気にしよう	〃
3	君も夢と希望あふれる地元の森林組合職員になって、豊かな自然の中で森づくりと木づかいを楽しもう	〃
4	森づくりの達人（森の民）になるために様々な技能を身につけよう	〃
5	森林簿と施業図を使って自分の山を覚えよう	〃
6	自分の山づくりのプランを建ててみよう（オーダーメイドの山づくり）	〃
7	様々な木材の搬出方法を見学しよう	〃
8	山の技能作業手順書をマスターしよう	〃
9	自分の山の木がいくらになるか森林施業プランを提出してもらおう	〃
10	自然を楽しむ様々なグッズを手に入れて自然の中に飛び出そう	〃
11	国産材の家づくりに実績のある工務店・建築士さんに会いにいこう	〃
12	机やイス・家具など一生使える木製品の注文をしよう	阿部建設
13	一生使える机やイス・家具など木製品を家族で製作してみよう	〃
14	魅力ある国産材製品のカタログを入手して木のある暮らしをはじめよう	有賀建具店
15	森づくりと木づかいに取り組む、知って得して面白い魅力的な方のお話を聞きにいこう	スギダラ
16	製材工場の端材を使って小屋づくりをしよう	森林組合
17	住宅建築フェアを見に行こう	ナイス
18	東京おもちゃ美術館を見学し児童向け木のおもちゃを研究しよう	〃
19	ナイス企画 需要創造型イベント・体感ツアー・木の感謝祭に参加しよう	〃
20	ナイス企画 ナイスパワーホーム豊田プレミアムのコンセプトを学ぼう	〃
21	木曽川流域材の家づくりのシステムを学ぼう	〃
22	オークビレッジ木の時間工作にチャレンジしよう	森林組合
23	木の工作に必要な広葉樹を育成しよう	〃

協議会では年間を通じてイベントを開催しています



木曽川流域 木と水の循環システム協議会 Web にて詳細公開中

- 木曽川流域 家づくりシステム (水つながる家)
- 木曽川流域 イベント情報 (住まいの耐震博覧会・その他)
- 木曽川流域 アーカイブ (各種情報・ホームページ)
- 木曽川流域 委員会活動
- 木曽川流域 領域スポット
- 木曽川流域 ReBORNスタイル
- 木曽川流域 フラント

<http://kiso-linetopia.com/>

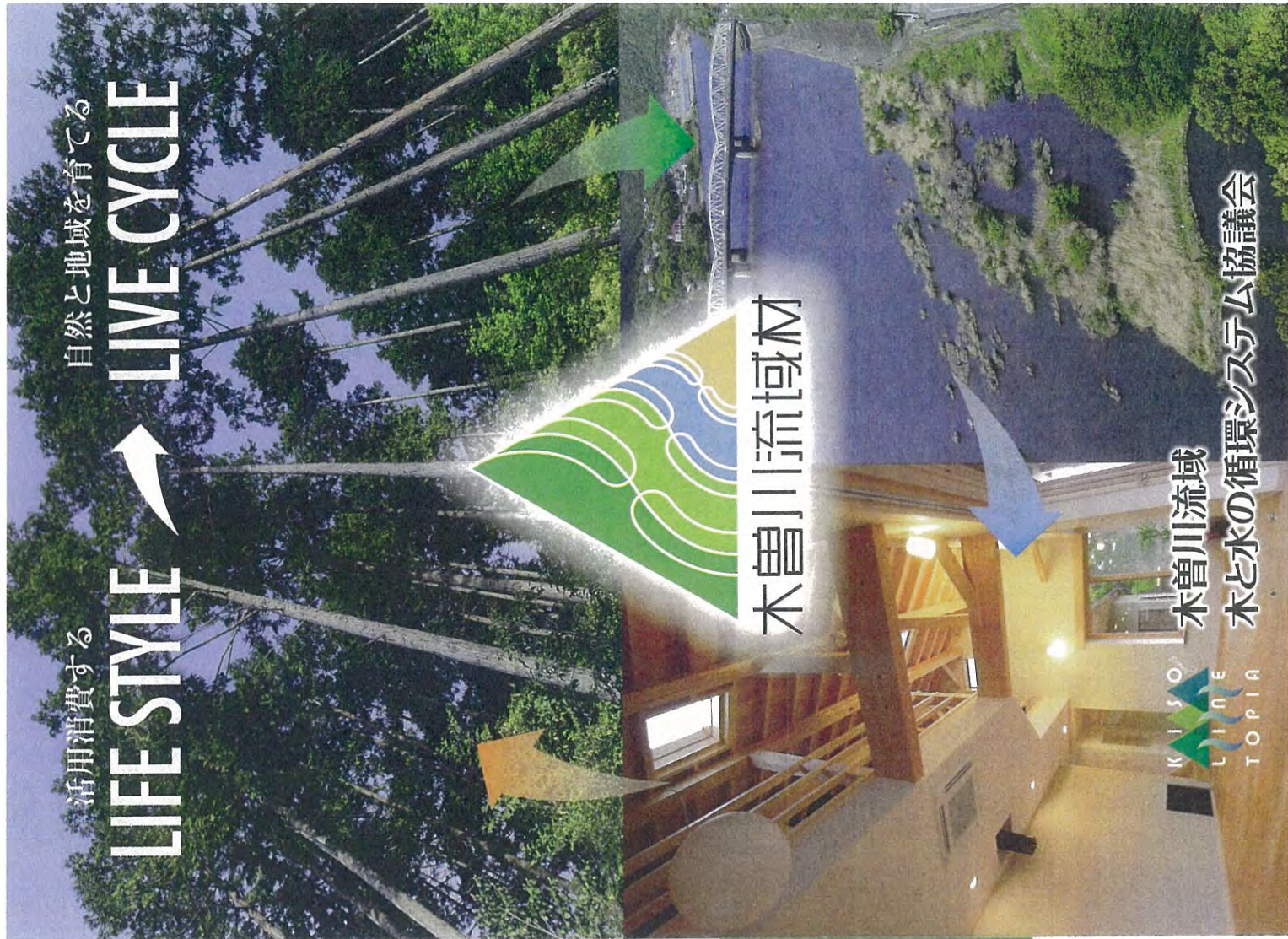
概要

団体名称 木曽川流域 木と水の循環システム協議会
 設立日 平成25年5月23日
 代表理事 有馬 孝徳
 事務局 一般社団法人 木と住まい研究協会 中部支部
 委員会 商品開発委員会
 交流連携イベント委員会
 調査研究出版委員会
 〒485-8535 愛知県小牧市下末777
 05658-75-1211
 contact@kiso-linetopia.com

KISO RIVER BASIN WATER CYCLE SYSTEM ASSOCIATION
LI
NE
TOPIA

流れが結ぶ、地産の恵み
 点と点としての「地域」から
 木曽川を幹に結びあう「流域」へ。
 その土地土地で生まれた恵みを文化として育み
 より豊かな「電流舞(ふるさと)」を創生します。

木曽川流域 木と水の循環システム協議会



木曾川流域 木と水の循環システム協議会

この協議会は、木曾川流域の山の恵み・川の恵み・地域の恵みを支える自然の恵みを知り、その恩恵を次世代に継承していく「流域思考」を形成・共有するために設立されました。

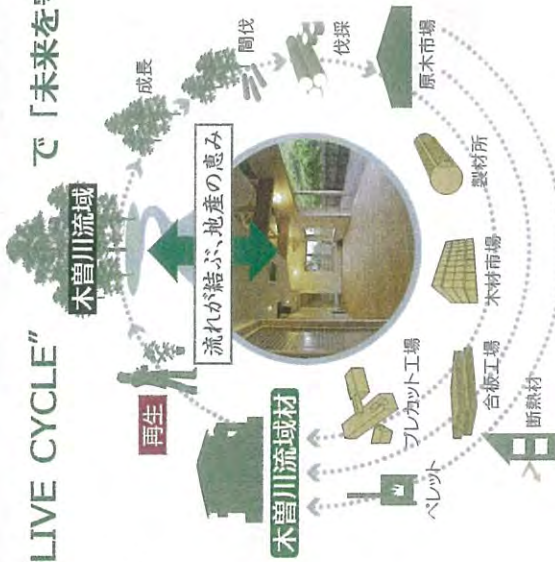
主に木曾川流域の概念形成、エコブランド化を企画実践し、林業事業者から製材加工業者、木材流通業者、建築施工業者など木曾川流域の川上から川下までの木材・建築関連業者が参集、連携し、消費が生産（再生）を生む「活用消費」の具体的実践を進捗する活動を行っています。

流域圏で豊かに暮らしている未来を目指し、流域の農工商連業者との交流・連携により、人の絆を重視した循環型の流域経済活性化の具体的取り組みを行うことを目的とします。

木曾川流域 木と水の循環システム協議会 【事業内容】

- 1 木材・農林水産物のブランド化
- 2 消費地と産地との交流・連携促進
- 3 活用消費地と流域産業の連携イベント
- 4 非住宅（公共建築物含む）への資材・技能の提案
- 5 地域資源を活用した新商品開発など
- 6 流域文化に関する調査・研究・発表・出版
- 7 他の流域との交流・連携

“LIVE CYCLE” で「未来を守ること」



国土の3分の2が森林という、世界有数の森林大国・日本。にもかかわらず、木材輸入の自由化により、国産材の自給率はかつての9割から2割近くまで激減、現在は約7割以上を輸入木材に頼っているのが現状です。

木曾川流域は、天然林・人工林（育成林）ともに、良質な木材資源が豊富です。適切な利用・管理のされた人工林は、大きな成長力があり、伐採することで森の健康を維持し、森林の持つ自然機能を発揮させるのです。

山の恵み、川の恵み、水の恵みを受けている木曾川流域に住む私たちが、木曾川流域材を材として、エネルギーとして、ライフスタイルとして積極的に活用消費することで、森林の多目的機能が発揮され、災害防止にもなり、地産地消であるかゆえに、輸送などに使われる化石燃料やCO2の排出量が最小限に抑えられます。

活用消費する私たちに安心・安全な豊かな暮らし、一方木曾川流域材を生産する山村は活性化され、森林は健康維持される。そんな理想的な循環が「LIVE CYCLE」と呼ばれ、次世代の生きる「未来を守ること」へとつながる社会になることを目指しましょう。



木曾川流域



尾張名古屋圏（下流域）の生活を支える御嶽山を中心とした木曾川・飛騨川水系（上流域）の集水域（木曾谷地域・飛騨川地域・木曾川地域）から産出される産地が明確な国産材です。

木曾川流域の地の恵みから産み出される木曾川流域材は高品質で安心な住まいになるだけでなく、活用消費することで、モノ（製品）やコト（文化）が、循環し身近な暮らしの中で活かされることによって、流域経済を潤すと同時に、次世代へと継承できる豊かさへとつながっていく地産地消ブランドをめざします。

選んで安心の高品質



木曾川流域材は、ただ産地を指す呼び名ではなく、木曾川流域 木と水の循環システム協議会加盟業者が生産供給する、一定の基準をクリアした高品質優良木材材材ですので安心してお使いいただけます。

森林資源無駄なし活用商品として



CO₂の排出量を抑えたエコな低炭素住宅に対応可能!

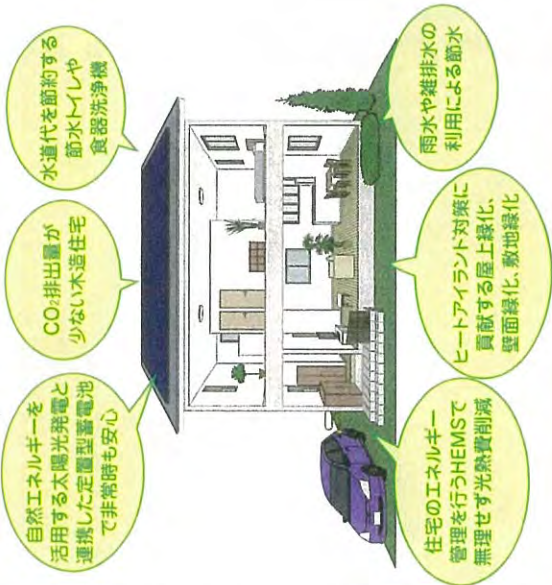
通常仕様から認定低炭素住宅にした追加費用

- H11年基準断熱材の性能強化変更 ¥200,000
- サッシ/玄関ドアの性能強化変更 ¥300,000
- 高性能エアコンへの変更 (LDK、主寝室、その他居室の3台を想定) ¥400,000
- 換気部材の変更 ¥0
- 高効率給湯器(エコキュート)への変更 ¥200,000
- 節湯機器/配管を省エネ機器への変更 ¥100,000
- 省エネ照明への変更 ¥200,000
- 節水トイレへの変更 ¥250,000
- 雨水タンクの設置 オプション
- 太陽光の設置(4KWシステム) オプション
- HEMSの設置 オプション
- 蓄電池の設置 オプション
- 申請手数料 ¥100,000
- 対応追加費用合計 ¥1,750,000

*国から認定を受けた低炭素住宅【認定低炭素住宅】といします。

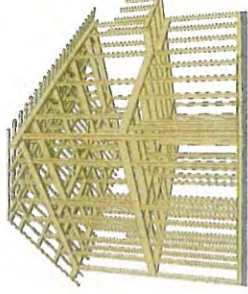
*低炭素住宅は、上記の要件をすべて満たす必要はありません。あくまでも一例で弊社標準仕様モデルの概算金額です。

*認定対象は市町村区域等に限定。この地域から外れる場合は、認定は受けられません。

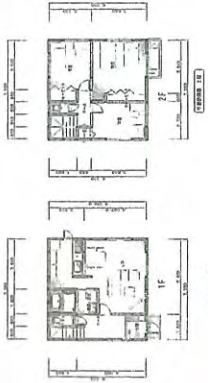


断熱性の向上をはじめ、高性能な設備を採用することで、一歩進んだエコロジーとエコノミーを実現します。
また、低炭素住宅の認定を受けた一定の新築住宅については、税制優遇措置の対象となります。

✓ 柱土台 オール流域材パッケージ



選べるパッケージ有り



木曽川流域材

おまかせポイント!

ちゃんと骨組み選んでますか?
構造躯体・内装・水周りをパッケージ

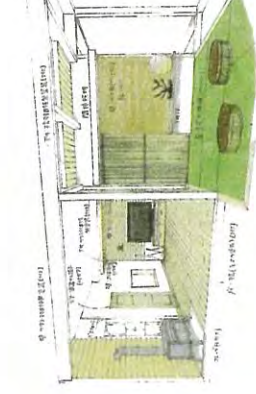
木曽川流域材でフルチョイス超イイです



✓ チェックして工務店に相談してみよう!
材のコストは思っているより...!?

✓ 節水トイレ

✓ リラックスバス



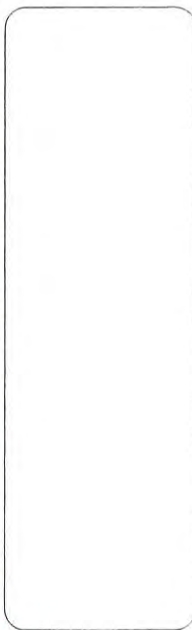
✓ お料理わくわくキッチン

✓ 国産スギ 清閑プラン

木曽川流域 木と水の循環システム協議会 Web にて詳細公開中

<http://kiso-linetopia.com/>

✓ チョイスをしたら下記工務店に相談しよう!

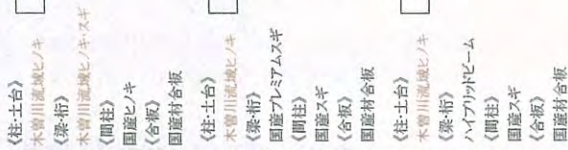


話題の木曽川流域材を使用したフルチヨイスパッケージが登場!

優れた材質で、なおかつ私たちのチヨイスが暮らしを豊かにし、自然と地域を育てます。低炭素住宅にも対応!

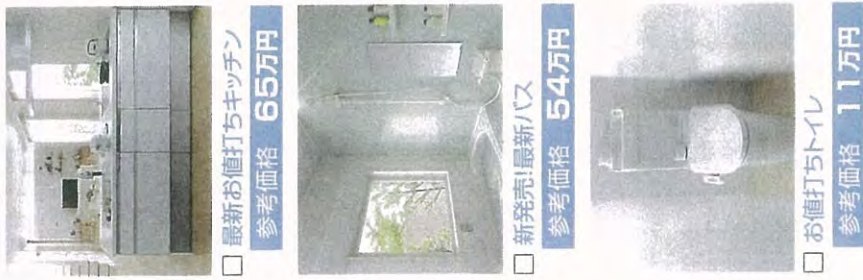
大切な骨組みチヨイスが超イイです

- オール流域材パッケージ**
 主要構造材である柱、土台、梁・桁すべてに地元の木曽川流域材を利用した地産地消にこだわったパッケージです。
 品質は無垢材の最高品質規格のJAS機軸等級区分裂材品に適合し、産地にもこだわったプレミアムパッケージです。
 参考価格：構造材+羽柄材（間仕筋交）+合板代金の合計です。
- グッドプライス国産材パッケージ**
 柱、土台に木曽川流域材、梁・桁などに厳選された国産材を使用したグッドプライスの国産材無垢材のパッケージです。
 品質は無垢材の最高品質規格のJAS機軸等級区分裂材品に適合し、木曽川流域材はしめ国産材にこだわったお値打ちパッケージです。
 参考価格：構造材+羽柄材（間仕筋交）+合板代金の合計です。
- 無垢材×構造用集成材パッケージ**
 柱・土台に木曽川流域材の無垢材（JAS機軸等級区分裂材品）、梁・桁には構造用集成材を使用し、金物工法にも適したパッケージです。
 参考価格：構造材+羽柄材（間仕筋交）+合板+金物代金の合計です。



水周りチヨイスが超イイです

- お料理わくわくキッチン**
 参考価格 74万円
- 設備充実キッチン**
 参考価格 73万円
- お風呂バス**
 参考価格 98万円
- お風呂バス**
 参考価格 98万円
- お手入れ楽々トイレ**
 参考価格 28万円
- お値打ちトイレ**
 参考価格 11万円
- お値打ちトイレ**
 参考価格 11万円



天然の国産無垢材の内装チヨイスが超イイです

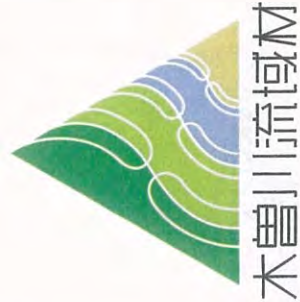
- 木曽川流域ヒノキ フルコース**
 優しい木目とさわやかな香り漂う木曽川流域のヒノキを賢知に選んで森林浴気分を味わってみませんか? 落ち着いた空間に仕上がりが、伝統的な日本建築の良さを引き立てます。
 床：木曽川流域材 ヒノキ（無節） 56万円
 天井：木曽川流域材 ヒノキ（無節） 65万円
- 国産杉 清閑プラン**
 柔らかな肌触りと独特の温かみ心地よい、国産杉をふんだんに使った仕様です。杉は節の有無や、「赤身」「白太」といった色のコントラストでも様々な表情を演出してくれます。
 床：国産杉（節有） 30万円
 天井：国産杉（無節） 55万円
- 木曽川流域ヒノキ×国産杉 通材適所プラン**
 床が多い1Fにヒノキ、子供部屋や寝室のある2Fに国産杉を使用するMIXプランです。杉やヒノキはリラクゼーション作用や集中力を高めしてくれる効果もあり、子育て世代の住まいづくりにおすすめです。
 床：1Fヒノキ（無節）、2F国産杉（節有） 43万円
 天井：1F国産杉（無節）、2F国産杉（無節） 60万円



選んで安心!強さ・暮らし・環境「未来を守る」ブランド

木曽川流域材は産地を表す名称だけではなく、私たちが暮らしの源である、木曽川流域材をチヨイスされることで、私たちの暮らしの源である、山の恵み、川の恵み、水の恵み、地域を支える自然に貢献し循環される“ライブサイクル”が生まれます。

家づくりで、未来を見据えて木曽川流域材をチヨイスしてみませんか?



豊かな暮らしとは、 どんな暮らしでしょうか。

それは、暮らしの中で自然と共存し、地域とのつながりを大切にしながら、多様なライフスタイルを育む暮らしではないでしょうか。
 それがこれから先の住まいづくりが果たすべき使命だとナイスは考えました。
 私たちが今回ご提案する「森でのんびり暮らす家/ナイスパワーホーム豊田プレミアム」は、住まいと地元豊田市の自然・産業・文化との共存、ここに住む方が地域社会の中で、ますます生き生きと豊かに暮らすことを目指しています。
 新しい住まいづくりのご提案です。

森で NICEナイス パワーホーム豊田プレミアム

PHOTO
豊田市「矢作川」と森



豊田の森と暮らす。

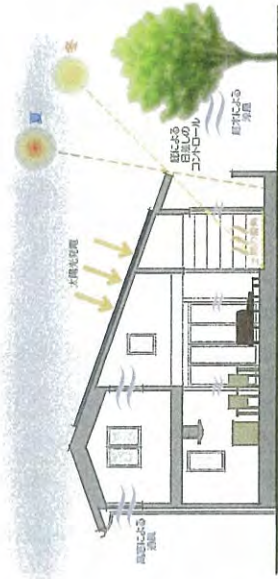
豊田市の森は矢作川流域にすくなく入り込み、その約7割が森林です。普段の生活の上で、川の恵み、川の恵み、水の恵みを受けている矢作川流域に生活する人々が深々暮らすには、矢作川流域の木の利用をすることにより、地元豊田に木材供給と再生の仕組みを作り上げ、矢作川流域の産業、自然、文化の再生を実現します。また、豊田の森の資源を活用することは、上流と下流で相利共生の関係を築き出し、資源を循環する仕組みを作り上げます。

ナイスパワーホーム豊田プレミアムは
躯体の約50%に矢作川流域材を使用

つながる家。



ナイスが考える、 自然の恵みを活用した スマートハウス。



ナイスは、これからの時代のスマートハウスは、自然の恵みを最大限活用できる仕組みが取り入れられた「スマート暮らしの住宅」であるべきだと考えています。屋外から光と風を招き入れるために綿密にシミュレーションされた開口部や、取り入れた風が家の隅々まで届くように設計された開口部や、その電気を無駄にしない「エネルギー」の見え方の仕組みなど……。自然と人が心地よい調和を育んでいく居心地の良い住まいを提案しています。



スギダラ矢作川支部設立準備基調講演：

「ソウルフルな木づかいからビューティフルな森づくり村づくりを」

講師：若杉浩一（日本全国スギダラケ倶楽部 <http://www.sugidara.jp/>）

圧倒的に楽しく面白くそしてめちゃオシャレに、杉を使い森を作り地域を変えてきたスギダラ。全国に感染を広げるスギダラ菌を矢作川流域にも！その張本人の若杉浩一さんがソウルフルに吠え笑わせます。面白くてためになり、そして勇氣百倍を保証します。

●日時：9月19日（金）15時～17時

●場所：根羽村「しゃくなげホール」

15：00～ 基調講演 若杉浩一さん

16：20～ 流域の木づかい森づくりのキーパーソンとのディスカッション

若杉浩一（スギダラ）、今村豊（根羽村森組参事）、洲崎燈子（矢作川研究所）、
蔵治光一郎（東京大学）、 進行：丹羽健司（矢森協）

17：30 閉会

18：30～ 懇親会（グリーンハウス森沢：宿泊可）

* 共催：根羽村、根羽村森林組合、矢作川流域圏懇談会山部会

* この事業は、新・地域再生マネージャー事業（ふるさと財団）と長野県「地域発 元気づくり支援金事業」の助成で開催します。

* 問い合わせ → 090-9916-1546（丹羽）

* 申し込み（持ち込み歓迎懇親会@1700円、宿泊3300円、必要！ 締切9/12）

→ niwa_ken2002@yahoo.co.jp



若杉 浩一
KOUICHI Wakasugi

1959年生まれ 熊本県天草郡出身

1984年九州芸術工科大学芸術工学部工業設計学科卒

同年株式会社内田洋行入社、デザイン、製品企画、知的生産性研究所テクニカルデザインセンターで製品開発と研究開発を行い、現在、内田洋行のデザイン会社であるパワープレイスにて、ITとデザインのメンバーを集めリレーションデザインセンター設立し事業化を志す。

企業の枠やジャンルの枠にこだわらない活動を行い、やりすぎて何度もデザイナーを首になるも、性懲りもなく、企業と個人、社会の接点を模索している。

スチール家具メーカーなのに何故か、日本全国スギダラケクラブを南雲勝志氏と設立。

sugi-puroducts

<u>sugita</u>	杉太
<u>sugita-w</u>	杉太-w
<u>ugokisugi</u>	動杉
<u>ugokisugi-w</u>	動杉-w
<u>takasugita</u>	高杉太
<u>takasugita-w</u>	高杉太-w
<u>sugihei</u>	杉平
<u>sugisha</u>	杉車
<u>ginesugi</u>	ギネ杉
<u>sugicchon</u>	スギっちゃん
<u>daisugi</u>	大杉
<u>nagasugita</u>	長杉太
<u>kohosugi</u>	広報杉

某家電メーカー(日立製作所)研究所のためのテーブル。杉シリーズの最高傑作として名高い一品。175mm角。長さ4.8mは1本モノ部門では最長。



スギダラの件について

1 スギダラ矢作川支部とは

スギダラとは、戦後の植林によってスギだらけになってしまった日本の山林をやっかいもの扱いせず、材木としてのスギの魅力をきちんと評価し、産地や加工者、流通、デザイン、販売などスギを取り囲むシステムを結びつけることで、スギをもっと積極的に使っていこうじゃないか、という運動です。

つまり、これからは山ではなくて、山のスギを使って街や住まいや生活空間をスギダラケにしていこうということです。それも、クオリティの高い、愛情のこもったスギならではの製品を世の中に広く行き渡らせようというプロジェクトで、全国で展開されている「木づかい推進」活動です。

今後、この南信州でも根羽村や平谷村を水源とした長野県・岐阜県・愛知県を流れる矢作川流域のスギ人工林の材料を使って、流域に住んでいる方々のライフスタイルの中に様々なスギ材の木製品を取り入れてもらい、身の回りを「スギダラケ」にしてもらおうとする運動を起こしたいと考えています。

その活動拠点となる支部を「スギダラ矢作川支部」と名付け、その拠点を根羽村（森林組合）におきたいと考えています。

上流域のスギ人工林の材料を木造住宅の建築材料としてのみ使うのではなく、子供から大人までライフスタイルの中にもスギ材を取り入れていただくことで、「木のある暮らし」を進めていきたいと考えています。そうすることで、上流域の森林の整備が進み、水資源の安定供給と林産業の確立による持続可能な地域づくりが可能となります。

2 全国スギダラケ倶楽部会長 若杉さんと活動内容とは

気持ちの良い空間、ほっとする空気、楽しく幸せな人々の表情、記憶に残っていく風景や思い出、まちや人が自然に歳をとり時と共に味わいを増すことのすばらしさ、人と人との信頼関係、そんな基本をもう一度取り戻し、守っていくための手法としてスギとの関わり方にその可能性を感じ、その実現のための活動を展開しています。

日本全国スギダラケ倶楽部は、大人や子供、組織や企業、地域や分野を超え、意気投合した仲間たちと、人とスギとの関わり方の可能性を語り、様々なプロジェクトを実行するためのネットワークをつくり、日本中に広げていくことを目的としています。

具体的には、人の集まる空間にスギの角材を利用したダイナミックなテーブルやベンチ等を設置して、楽しい空間と人の輪づくりに取り組まれています。ホームページで確認できるだけで、全国 25 の活動団体とリンクが張られており、大変多くの方がスギダラ活動に参加されています。

3 ディスカッションの内容は

まず、講演で若杉さんが全国で実施されているスギダラ活動による展開方法を学び、それをこの矢作川流域でどのようにしたら展開できるのか、ディスカッションしたいと考えています。

その中で、どのようにしたら住民のライフスタイルを「木のある暮らし」にできるのかヒントをつかみ、このような活動をできる限り、この流域で森や木に関心のある方々に働きかけて共に活動してもらい、人の輪を広げて、共に森づくりや、過疎化の進む山村の地域づくりを考えてもらうきっかけになると良いと考えています。

4 今後の森づくり・村づくりに大いにいかされれると思われませんが、今直面している問題は

根羽村の事例で言いますと、一般的に材価が低いので、効率良く山から木を出す工夫をしないと森林所有者にお金を還元できないこと。工場で製品生産を行っていますが、いわゆる大量生産を行っている大規模な製材工場とは、製品単価の面で勝てません。また、人口の自然減に対応した若者定住対策も課題です。

従って、丸太や製品を販売して外貨を獲得する現在の取り組みの他に、根羽村と交流のある森や木や里山ファンに顧客として根羽村に来ていただき、デザイン性の高い木工作や森づくりや野菜づくり、マイ露天風呂を楽しんでもらうことなど、都市部の住民の方に、森や遊休農地などの地域資源を活用したライフスタイルを提案して、こうしたサービス業による外貨獲得の仕組みづくりを検討しています。

5 講演には村外の方も参加できますか

講演には村外の方も無料で参加でき、申し込みは必要ありません。講演会の後に行われる懇親会に参加される方は、根羽村森林組合今村まで、0265-49-2120 へご連絡ください。

6 皆さんに一言

まず、改めて紹介しますと、今週金曜日 9 月 19 日の午後 3:00 から根羽村老人福祉センター「しゃくなげ」で、日本全国スギダラケ倶楽部会長の若杉浩一さんの

「ソウルフルな木づかいからビューティフルな森づくり村づくりを」の講演を行いますので、ぜひご来場ください。

また、根羽村には「小さくすまう魅力的な木の住まい」というモデル住宅の展示もしております。その他、森や木を使ってこんなことをしてみたい、木づかいのアイデアがある方々との交流の場づくりに心がけています。ぜひ、根羽村まで遊びにきていただければと思います。また、スギダラの一環として、来年度から根羽村では「木のある暮らし」講座の開設を予定しています。楽しみにしててください。

(参 考)

スギダラとは「杉だらけ」の略です(略されているのは「け」だけという話もありますが)。

スギダラプロジェクトを一言で簡単に説明すると、戦後の植林によって杉だらけになってしまった日本の山林をやっかいもの扱いせず、材木としての杉の魅力をきちんと評価し、産地や加工者、流通、デザイン、販売など杉を取り囲むシステムを結びつけることで、杉をもっと積極的に使っていきたくないか！という運動です。つまり、これからは山じゃなくて、街や住まいを杉だらけにしていこう！ということです。もちろん、ただダラダラと日本全国杉だらけにするのではありません。クオリティの高い、愛情のこもった、杉ならではのモノたちを世の中に広く行き渡らせよう、というプロジェクトです。



ところで、小さい頃、幼稚園で先生のオルガンに合わせて歌った「お山の杉の子」を覚えていますか？(そんなのは知らない、という人はお祖父ちゃんやお祖母ちゃんに聞いてみてください)



むかし、むかし、そのむかし、椎の木林のすぐそばに
小さなお山があったとさ、あったとさ

で始まる唄。お日様に声を掛けられて目を覚ました杉の子がグングン成長して、いろんなものに活用され、国の発展に役立つ、という内容の歌詞です。その5番には、

大きな杉は 何になる
お舟の帆柱 梯子段
とんとん大工さん たてる家(うち) たてる家
本箱 お机 下駄 足駄
おいしいお弁当 食べる箸
鉛筆 筆入 そのほかに
たのしや まだまだ 役に立つ 役に立つ

* 吉田テフ子作詞/サトウハチロー補作・佐々木すぐる作曲

とあります。実はこの歌詞、終戦後に改正されているんですね。戦時

中、つくられた当時の歌詞では「お舟の帆柱 梯子段」のところが「兵隊さんを乗せる舟」であり、「とんとん大工さん たてる家」のところは「傷痕(しょうい)の勇士の 寝るお家(うち)」でした。戦時中から戦後にかけての日本で、いかに杉がもてはやされていたかということがわかります。



でも、この歌詞の中に登場するもので、今も杉でつくられているものがどれだけあるでしょう？ 戦後しばらくは、建材として、建築現場の足場材や杭として大量に使われた杉材も、工業製品に取って代われ、輸入の自由化によって流入した安い外国産材に押されて次第に行き場を失っていきました。今や、日本の木材自給率は全体の20%ほどになってしまったそうです。「国産材は高い」「含水率が高く割れや反りが起きやすい」、と敬遠されるのには、さまざまな要因が絡んでいます。狭く起伏が激しい国ゆえに、切り出した材の運搬に手間がかかること、その人件費が高いこと、乾燥のために保管するスペースにコストがかかること、産地から消費者に渡る間にたくさんの業者が入る古い仕組みによって値が上がること……。消費者の手に届く時には高い値がついている木材も、元の価格はびっくりするほど安く、その結果、切っても利益の出ない木(銘木などは別として)は売る努力がなされないまま放置されることになり、悪循環が延々と続いているのです。

一方、荒れたまま放置される山を放っておくわけにもいかない国は、環境保護の名目で間伐材の処理に対して補助金を出しています。森林業者に聞くとところによれば、「補助金が出るからとりあえず間伐材を切ります。そのために切り出し道が必要になるからつくるわけです」とのこと。

補助金が出る間伐材は集成材として加工されることで、割れや反りの心配のない建材として広く流通しています。それはそれで別の利用方法や価値があるかもしれませんが、それによって木造建築の可能性が大きくなったのも事実です。

でも中には、間伐材扱いされるべきではない「大口径間伐材」なるものもあると言います。それは本末転倒というものじゃないでしょうか？ 有り余る杉の木をどうするか、杉花粉の温床と問題視される山をどうするか、無計画な大量の植林によって日本古来の美しい広葉樹林を壊し、植生を変えてしまった責任はどうなるのか、という根本的な部分の解決になるはずがありません。

補助金を出すなら、間伐材ではなく、立派に成長した杉の成木に対

して、またその有効活用に対して出していきたい！ 流通システムを見直し、産地と加工業者が互いに知恵を出し合い、きちんとした商品開発を行って消費サイクルが活発になれば、自然に切り出し道が出来るだろうし、間伐材だってその過程で自然に発生してくるものでしょう？

その結果、山の保全がなされれば、川の水質も、海の水質も良くなるでしょう。日本の森林面積の多くを占める杉の利用を考えることは、実は日本を取り囲む自然全体を考えることでもあるのです。

どうせなら、なんの木が混ざっているのかよくわからない集成材としてではなく、1本の杉の材木としての魅力を存分に生かして、「杉なんだ！」という存在感のあるモノをちゃんとつくって使ってあげたいものです。何とんでもこれだけ大量にあるのですから、ルートを確保すれば安い価格で安定供給できるはず。無垢材だってふんだんに使えます。今取り組んでいる杉の家具「sugidara」シリーズでは、外材ではできない杉ならではのものを、今までの家具のつくり方にとらわれない自由な発想でできないか、試行錯誤しながら開発を進めています。

その中の一部は、すでに企業や大学の研究室などで活躍中！ コンピューターや無機質な精密機械がカチャカチャ音を立てている空間に、ドーンと杉の大木が横たわっているなんて、まさにオアシスです。近づけば杉のいい香り。触ってみればほのかに暖かく、掌にその木が生きてきた数十年の生命を感じます。

家具だけでなく、例えば、宮崎県日向市では、街灯や車止め、ベンチや手摺りといったストリートファニチャーとして杉が大活躍しています。「木の文化のまちづくり」をテーマに、行政と地元森林組合、そして市民木工組合「木の芽会」が協力しあい、自分たちの街を自分たちで創ることを目指している日向市。雨風にさらされる屋外で木を使うのですから、当然経年変化によって傷みも伴います。でも、この街では「木は傷むもの」ということを前提に、みんなで守り育てていこうという方向を確認し、市民の協力を得て年に1回メンテナンスするシステムをつくりあげることに成功しました。

考えてみれば、昔はそうやって使い手が自ら手入れをし、手に負えなくなったら街の職人さんが手を貸してくれて、建物も家具もメンテナンスしていたのです。何十年もかかって大きくなった木ですから、何十年も

愛情を持って大切に使ってあげたいものですよ。

間伐材であれ、成材であれ、もともと杉には杉としての魅力があつて、日本を代表する木として生活の中に溶け込んでいたはず。今、もう一度「杉の良さ」「杉の使い方」を改めて考え、気持ちよく暮らすための道具として、その使い方を提案していきたいと思っています。「一家に一台杉の家具」をキャッチフレーズに。

どんな木づかいガイドラインをつくりましょうか（イメージ案）

～人生を楽しみ愛する家族と共に幸せに暮らす

森や木とそれを育む矢作川の流れ共に生きるライフスタイルへの誘い

矢作川ディズ～

森や木とそれを育む矢作川の流れ共に生きるライフスタイルはとても素敵です。身近な生活空間の中に魅力的な木の製品をたくさんとりいれてみましょう。矢作川の流れを見つめ、自然の息吹に耳を傾けてみましょう。愛知・岐阜・長野の3県を流れる矢作川流域圏を対象としたこの木づかいガイドラインには、そんな森や木の魅力や、それを育む矢作川流域の自然環境に出会い、流域に暮らすひとり一人が未来にむけて互いに関わり合いながら、豊かで魅力的な地域社会を目指して活動していく（楽しむ）ヒントがたくさん書かれています。

この本を作った私たちは、森や木の魅力や矢作川の自然環境をたくさんの方々へ伝え、森や木や矢作川の自然環境と触れ合うことで市民の輪が広がり、そのことで地域が元気になっていくことを願っている一市民です。それぞれの様々な立場や経験から、森や木や矢作川の流れに対する愛情や思いや妄想もたっぷりこめて、矢作川流域に住む方々のために、もっと森や木を好きになろうよ、もっと地域の木を使ってみようよ、もっと森や木と共に生きている人達と友達になろうよ、そして地域に住むひとり一人が矢作川の自然環境の素晴らしさを共有し、皆で未来に向けて魅力的な森・川・海・街になるようにアクションを起こし育てていこうよ、という考え方を基本にして市民の目線からこの本を作りました。

この本を読むときと、あなたのライフスタイルが素敵な森や木の製品に彩られることになるでしょう。訪ねてみたくなる森やお店、森や木と共に生きている人と直接会って、話してみたくなることでしょう。もっと多くの同じ気持ちを持つ仲間と出会って、魅力的な地域づくりに参加してみたくなるでしょう。そんなことを通して、あなたの心が今よりもっと明るく朗らかにそして大きく広がって、森や木とそれを育む矢作川の流れと共に生きていく素敵なライフスタイルに目覚められることを期待しています。

こんなライフスタイルは、きっと私たちの暮らすこの矢作川の上流から下流に暮らす人々の交流や結びつきを高めることになるでしょう。今まで以上に流域に住む人々への尊敬や感動、そして地域に対する思いやりの心、協力しあうことの大切さに気がつくことになるでしょう。こうしたライフスタイルの基本となるような、地域とそこに暮らす人々と共に生き愛する気持ちが、矢作川の流れを地域の心の絆として、私たちにとって本来あるべき、そして未来に亘って暮らしやすい持続可能な流域を作り出していくグッドスピリットであることを確信しています。

私達の故郷の源である矢作川の流れを見つめ、いつまでも美しい森と川と海に囲まれて人生を楽しみ、愛する家族と共に幸せに暮らすことができるように、今こそ流域に暮らすひとり一人の住民の意識改革から、この豊かな自然環境を持続可能な財産として皆の手で育み、ずっと暮らしていただく魅力的な矢作川流域的生活空間「矢作川ディズ」を創り上げていきましょう。

今後の発展性について

根羽村矢作川ディズ 森と木のある暮らし講座を開設します（イメージ案）

1 当初段階…木のある暮らし講座の周知段階

根羽村にきて様々な木工工作に取り組みましょう。木工工作に必要な部材はすべて根羽スギで用意できます。また、木工工作に必要な工作器具は根羽村で用意してあります。工作室は、根羽村森林組合の木工加工室となります。指導者は根羽村民等です。デザインは、根羽スギに携わる者からのアイデアで考えられており、少し専門的ですが製作のしやすさを重視しています。ライフスタイルを豊かにするために根羽村手仕事市に参加された木工等のクラフトマンの紹介やイベント情報も提供します。

2 取り組み発展期…大型家具や大型施設等への製作チャレンジ・土地活用段階

根羽村でガーデンハウス等を自作し、遊休農地等で農業・林業にチャレンジしたり、自然に囲まれたオリジナルな自分時間が欲しい方は、根羽村民と「田舎の親戚」契約を締結した上で、建築場所と遊休農地を斡旋します。根羽村で木工工作に取り組み、ガーデンハウスやマイイベントハウスを建築して自然の中で森や農業と共に生きるライフスタイルを楽しんでみませんか。

山の中に建築する「マイツリーウッドデッキ」、「天体観測ハウス」、「夕焼けツリーハウス」、「花ぶぶきハウス」にもチャレンジしてください。

そんなライフスタイルを支えるアウトドアアイテムを販売するアンテナショップも検討中です。

3 自らが提案者として活躍…自らの経験知を事例や取り組みを通して広く伝える段階

さらに、木のある暮らし講座をさらに楽しんでいただくために、森や木のファンの皆様の経験を活かした個人提案型講座「森と木のファンからの提案チャレンジさあ～しよう講座」開設について、事務局で提案内容を確認させていただいた上でスタートとする予定です。自分の持っている森や木に対する技能・経験・知識を皆さんに教えてあげてください。

同様に、森林や木に対する様々な立場の方々からの個人提案型講座「市町村・関係業者・研究者からの提案チャレンジ さあ～しよう講座」も併せて開設しますので、森と木に関する様々な提案を個人の想いや情熱をたっぷり込めて根羽村から発信してください。

なお、講師料等については、参集された方々の「参加料」からお支払いしますので、お仲間をたくさんお誘い併せの上、提案されることをお勧めします。

なお、木工工作器具について個人用について一式そろえたい方は、販売店を紹介します。

日 時 平成 26 年 9 月 11 日(木)
19:00～20:30
場 所 根羽村老人福祉施設
「しゃくなげ」

根羽村 木のある暮らし講座開設検討会 次第

- 1 木のある暮らし講座の構想について
- 2 暮らしの中で使える根羽スギオリジナル商品について
- 3 無料モニター貸出利用による商品に対する意見の徴集について
- 4 工作室・木工サロンスギダラ・工作器具について
- 5 その他

1 木のある暮らし講座の構想について

根羽村は森林資源を活用した林産業を基幹産業としており、根羽スギ住宅の建築部材を県内の工務店に広く供給しているところである。一方で、根羽村には農家民泊による農産物等の収穫体験や、安城市や名古屋市の児童等による山村体験、アイシングループによる交流イベントとして多くの方が根羽村を訪れている。

そこで、こうした現在の来村者に現在の対応メニューの他に根羽スギ等による「木づかい・木工作」のメニューを加えることによって、根羽村の木をもっとPRし「木のある暮らし」を広めていくことにより、地域材の木づかいと販路拡大を推進する。

また、根羽スギ住宅のお施主様に、住宅建築と同時に家族でテーブルやイスを製作する機会や場所を提供したい。

2 暮らしの中で使える根羽スギオリジナル商品について

- ① 食器・お皿・木のおもちゃ等身近な小物類
- ② 机・テーブル・本棚等の家の中で使う家具類
- ③ ウッドデッキ・スモールハウス・足湯・露天風呂等（耕ライフキット）の屋外で使用する大型のもの

以上の木工品についてデザインを優先して商品化し、ホームページに掲載して受注販売を行う。木工製作指導体制について検討する。

3 無料モニター貸出利用による商品に対する意見の徴集について

上記③については、原則として移動しやすいことに配慮し、無料モニターの貸出を行い利用者の意見を集め改良する。③のフィールドとしてグリーンハウス森沢及び檜原地区を予定している。

4 工作室・木工サロンスギダラ・工作器具について

木工作室の必要性、規模、設置個所、機能、必要木工器具、指導者

5 その他

木工製作指導

集客・プログラム化

材料提供

等の役割分担検討及び補助事業の適用

商品の決定・ホームページへの掲載・コンセプト（案）

根羽スギダラ商品の決定・ホームページ掲載

NO	時 期	実 施 内 容	担当者
1	9.11	つくるものを決める	
2		試作品を作る	
3		試作品作成者と作成過程を映像化する	
4		試作品を使うモニター（村民か信大生）を決める	
5		試作品を利用している映像を撮り、感想を入れる	
6		単価を決める	
7		ホームページにアップする	
8		当初は受注生産・材料提供方式とし、製作指導体制を検討する	

根羽スギダラ商品製作のコンセプト

NO	内 容
1	原則的に根羽村のスギ・ヒノキ・その他樹種であること
2	根羽村村民を始め、矢作川流域等の関係者が参加・団結して、木づかい推進による森づくりや持続可能な地域のシステムをつくること
3	木づかいによって人と木の時間、人の居られる場所をつくること
4	製品はホームページにアップし、製作者、製品、製品利用者（村民等）の映像・コメントを入れること
5	作られた製品を村民が利用していること
6	小さいものから大きいものまで全ライフステージで利用されること
7	夏休み課題工作に対応できるものを含めること
8	根羽村内の農林一体的活用のアイテムとして、遊休農地と周辺森林の活用による外貨獲得に配慮すること（耕ライフキット[仮称]で遊休農地解消）
9	製品の製作者は当面、森林組合（村民アイデア）、阿部建設（オリジナルデザイン・大工製作）、松島クラフトマン（オーダー製作）を想定していること
10	製品の材料は基本的に森林組合の製品在庫を想定していること
11	この取り組みを名古屋市・豊田市・安城市の工務店と連携すること
12	安城市の環境教育や農山村交流に力を注いでいる小学校児童・ファミリー・アイシンググループファミリーを想定顧客とすること
13	チーム名を「ネバリン特殊木工部隊スギダラ」とすること。特殊の意味は、単なる一事業体による木工品製作でなく、多様な木づかい用途に対応すること、レパートリー・技能のある村民（他地区有志参加有）が参加すること、

	上流域の森林組合と下流域の工務店が連携すること、木育を重視することにある	
14	森林組合では「ネバリン特殊木工部隊スギダラ」の活動日を土曜日と想定すること。内容は製品製作、木工指導、木育出張（工務店等との連携含む）	
15	<p>この取り組みは持続可能な村づくり・森林組合経営に向けた活動でもあること。大規模な生産による安価な製材品販売を行う木材製品生産大工場に対し、製品単価では勝てない。そこで、私達の特色を活かして下流域の工務店と連携して生き残りを図る。私達の利点は</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 原材料となる森を育み、それを活用できること ② 活動に関わる人の顔がみえること ③ 全ライフステージの中で木と共に暮らす物語がつかれること ④ 将来的な根羽スギ住宅の顧客及び工務店の獲得に結びつくこと ⑤ 自分達が利用し、その利点を自ら語れること ⑥ 遊休農地・周辺森林の活用等、村に人が来て活動できる場所があり、それを楽しむライフスタイルの提案による外貨獲得が図れること ⑦ 上流域に住む「森の民」から下流域住民に向けた木づかい推進のための発信であること ⑧ 木や森と共にある暮らしや喜びを伝えられること 	
16	根羽スギ住宅を計画されているお施主様に対して、併せて根羽村での遊休農地を活用した耕ライフスタイルを提案できるように導くこと	

根羽村 木のある暮らし講座 参加者役割分担表 (案)

所 属	氏 名	備 考
稲垣建具店	稲垣 晃	木工品製作・指導
大工	片桐 伸夫	木工品製作・指導
松尾自動車	西尾 竹司	溪流・溪流歩道関係・獣害対策・ジビエ木づかい提案
NPO ねばりん	南木 一美	遊休農地活用・耕ライフ関係木づかい提案
矢作川流域圏懇談会	丹羽 建司	全企画・スギダラ活動発信・ギャラリー関係提案
農事組合法人	鈴木 伸治	遊休農地活用・耕ライフ関係木づかい提案
〃	片桐 俊夫	遊休農地活用・耕ライフ関係木づかい提案
素材生産	石原 光治	間伐材活用・薪づくり関係木づかい提案
酒屋	石原 明治	信州地酒カラック・里山景観活用木づかい提案
小川タイヤ商会	片桐 康孝	木質燃料の調達・販売等・木の駅木づかい提案
シルバー人材	石原 正和	木づかい推進恒常的業務提案
根羽村猟友会	片桐 龍男	獣害対策・ジビエ木づかい提案
すぎっ子餅	原 小夜子	食器等食関係木づかい提案
根羽小学校	6年生	子供の視点からのグッズ・デザイン企画提案
木工クラフトマン	松島夫妻	オーダーメイドの針葉樹家具製作・木づかい提案
檜原地区フィールド提案	石原 博樹	遊休農地及び周辺森林を一体とした改革的活用提案
	氏原 武美	〃
根羽村森林組合	鈴木 吉明	木工・建具・住まい提案
	今村 豊	企画・木の人の輪づくり・事業プロジェクト財源確保
	鈴木 寿	木工材料調達・木工・建具・機械操作指導
	石原 稔明	木工材料調達
	佐伯 伸治	木工材料調達
	小野 隆治	木工・木育・チェーンソーアート・機械操作指導
	堀 聖二	営業・情報収集・連携工務店確保

	石原 八重子	根羽村オリジナル木のデザイン企画
信州大学農学部	内川 義行	遊休農地及び周辺森林一体的活用・木づかい推進提案
	日下部 美佳	”
根羽村	小木曾 秀美	講座開設行政支援・広報・企画
	塩澤 聡氏	”
計	36名	



木のパワーをもらおう

その日の“お願いごと”でデザインを選んでね♪
 天然石とウッドビーズを組み合わせ、それぞれの風合いを生かした
 スレスレット、木の骨董、石が持つ意味などを組み合わせて、デザイン
 ごとにしあわせのメッセージを込めました。ちよつとパワーをもらいたい、
 そんなときに自分へのおまじないとして持っててくださいね。

森活 Point

国産材の利用で、森に人の手が入り、
 元気な日本の森を育成できます。

重ねつけても素敵です！



USW

森と大地のしずく
 ハッピーブレスレットの会
 (6回限定コレクション)

735 | 028-01 | CN-872-094

7月1期 ¥2,200 → ¥1,900 (税込価格)

■素材/天然木、天然石(瑪瑙石)・ガラスなど ひも編
 100%

■サイズ/全長約12~26cm(調節可能) ※天然木の
 ため、色・木目などが多少異なります。●帯目1個・6種類
 の中から、1個ずつお選びいただけます。(このコレクションは6回
 のお限りです)

※必ず特別お申し込み番号をお申し込みください。
 ※2回目以降は通常価格でのお届けになります。(フェリス
 モリカツウ会専用CN:409-420)

※お申し込みの際に必ず23ページの「発送先へようこそ！番
 組キャンペーン」についてのご注意をお読みください。
 (日本語)

フェリスモでは、「東北プロジェクト」をはじめ、東日本震災に対する長期的な支援活動を
 実施しております。今後もみなさまとともに、さまざまな支援活動を展開してまいります。
 フェリスモ 東日本震災復興支援ポータルサイト <http://www.felissimo.co.jp/j/motto/>

ともにしあわせになるしあわせ

FELISSIMO

東洋に起源した印刷物です。
 森林再生を、1997年に開始し、
 全国に展開しています。

59 NANIWA-MACHI CHUO-KU KOBE 656-0035 JAPAN TEL:078-791-8365

0995

くらしのなかの 森活カタログ morikatsu-Vol.01

手のひらサイズからはじめろ
木来の森づくり
 子どもたちに伝えたい
 緑の地球のつくり方



保存版

カタログ刊行期間：2012年10月3日

関東圏外の東内海は同梱
 送料がかかります

「フェリスモの森活部」ウェブサイト
<http://feli.jp/mori/> (パソコンのみ)

FELISSIMO

木をかざろう



玄関に小さなきのこの森が出現！
かわいくて便利な優秀アイテム

見た目はきのこ。その実態は、宅配の際に使う印刷入れ、おでかけするときを使う靴べら、おうちや自転車の鍵入れ、といった玄関先で必ず使うものを上手に保管できるカード入れ。さらに、家族の写真が飾れるカード立ても、扉を開けると、大小さまざまな形のきのこがお出迎えしてくれます。

森生活 Point 購入するのとき
第三者機関により認定された森林水を
使うことで、森林が健全に管理されます。

new きのこの森がお出迎え
木の玄関グッズの会
(4回限定コレクション)
④

掲載番号 | 案内番号 | フォトコレクション番号
735 | 026-01 | CN-440-512

月1個 ¥900 (税込+送料)
■無材/天竺木(リバーウッド)限定
■サイズ/商品写真をご確認ください。 ※手触りのため
色・本目/商品写真と異なる場合があります。 ※ひとつずつつづつつづつ
の色の数が多少異なります。 ●毎月1個、4種類のなか
ら、1個ずつお届けいたします。(コレクションは4個のみ
届け完了します) (本材:ニューシェーランド フォリンダ)



【ハンコ入れ】 宅配が届いてもあわてずに済みます。
※直径約5.5cm、高さ約10.5cm

【カード立て】 家族の写真が飾れるカード入れ。
※直径約5cm、高さ約7.5cm

【キーケース】 大層な鍵は小さく収納可能。ここに保管！
※直径約10cm、高さ約8cm

【靴べら】 上部はなんと靴べら！かわいらしい見た目に必要な靴べらも喜んでくれるかな？
※直径約6cm、高さ約14cm

おうちの中から、五感で森を感じて、
ちよっとした気づきが明日の世界を変えるかも。

森の息吹をからだで感じれば、自然と心がリラックスしてなだか元気がわいてくる。
森とともに生きてきた私たちだから、それは自然なこと。そこで、見て、聞いて、さわって、
嗅いで、味わって、すべての感覚から森を感じられる27のアイテムをご提案します。

目
色や形を目で楽しむ
Sight

鼻
五感で森を楽しむ
The five senses

舌
味を楽しむ
Taste

鼻
香りを楽しむ
Smell

手
ぬくもりを楽しむ
Touch

目
音を楽しむ
Hearing

目 目は自然の光... スキヤヒ、牛などの人工林の成長を助けるために水を回引いて乾かし、
日当たりを確保する作業を開伐(かんぱい)といいますが、そのと出出る水が自然素材です。
目 自然素材は... 私たちが厳選した自然素材をつくられた商品を購入することで、森林は整備され、
地球温暖化の原因となる二酸化炭素をたっぷり吸収する、元気で育ち生まれまわります。

森生活 Point をcheck!
ご紹介している商品がみんなが手にすることで、このよ
うな森を守る活動につながっているのが各商品ごとにこ
ろ小、あなただけが森を育ててくたさい。
購入するのとき
開伐によって健全な木を育て、
元気で日本の森を育みます。





おうちのバスルームで森林浴気分を満喫

春はサクラ、夏は金魚、秋はモミジ、冬は雪の結晶といったように季節のモチーフを切りだし、四季を表現。お風呂に浮かべるとヒノキのお風呂に入ったかのように上品な香りがバスルームに広がります。

窓 森活 Point 購入することで

同梱によって様々な木々を育て、元氣な日本の森を育てられます。

【春】サクラ(大2枚、小6枚)、花糸(2枚)

【夏】金魚(大3枚、小3枚)、ハスの葉(大2枚、小2枚)

【秋】モミジ(大2枚、小3枚)、イチョウ(大2枚、小3枚)

【冬】雪の結晶A(2枚)、雪の結晶B(大3枚、小2枚)

※お風呂の扉は、季節に合わせてのお掛けではお取り扱いができません。四季の扉を集めて、お楽しみください。

ヒノキの香りを知らない子どもたちが多いことに気付いた大阪住之江の木工所、家族みんなでヒノキの香りのお風呂を楽しんでもらえるように、ひとつひとつついでに昔野ヒノキで手づくりされています。



間伐材マーク
間伐材マークとは、全国製材組合連合会にて認可された間伐材を使用した製品などに表示されています。



●1図の4面がヒノキです。



ふかふかの芝生が おうちにある気分はまるで森の中。

深い森をイメージさせるビッグクッション。肌ざわりがやさしい長い毛足で、いつまでもふかふかになっていくようにしています。色調の異なる緑の3色展開で、3つすべてをフロアリングに置くと、おうちの中に森ができたみたい！

窓 森活 Point 購入することで

商品が売れた額に応じて、フェリスモの募金金へ作り手から寄付します。

そのままの切り株が おうちのインテリアに変身。

木材の赤り部分を使用した切り株、切り株らしく魅力的に見えるようにひとつひとつ細かく仕上げた切り株は、木ならではのぬくもりのある独特の質感が楽しめます。ちよこんと盛れはまるで森の中で休憩しているような気分！

窓 森活 Point 購入することで

建築材の赤り部分を商品として再生することで、元氣な日本の森を育てられます。



年輪からは年月を重ねて成長してきた木の響きも感じられます。

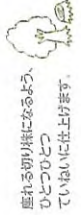
別便 コレクションとは別便でお届けします

NEW 森と友だちになろう
森の切り株 カブー
1冊 ¥16,800 (税込価格)
ご購入はWEBのみです
<http://feli.jp/j/kabu/>



都会の家に森のぬくもりを。行く先を失った木材の活用方法

木のまっすぐな部分より下は、製材場などでは使えない「元玉」といい、廃棄や土に埋めるしかない存在でした。「元玉」を放置しておくと森が育れる原因に。そこで森を有効に活用するための方法のひとつとして誕生したのが、この切り株。「木のぬくもりや自然を演出できるように」と、凹凸や弾曲などを残しつつひとつずつ、ていねいに作り上げます。



産れる切り株になるよう、ひとつひとつていねいに仕上げます。



京都府土佐町の木工所 和野修一さん

捨てられるはずの木の「元玉」部分を商品にすることで山や森が豊やかに。

木の恵みで
お掃除



「フローリングワイパー」は
組み立て式、無塗装で天然
木の風合いが楽しめます。

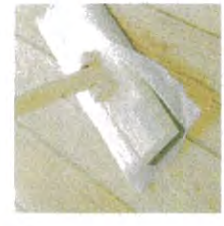
お掃除が楽しくなる♪
デザイン性もグッドなお掃除道具

ヒノキの間伐材を使ったお掃除道具。天然木ならではのさわわりや香りが心地よく、お部屋に置いておいてもさびなくインテリアになじむようなデザインがうれしい。リビングなどよく目にするところにも置いておきたいので、ママにお掃除をしたくなるかも。

暮らし活 Point
間伐材によって健全な木々を育て、元氣な日本の森を育てることができます。



【手拭き用クリナー】
木の持ち手がすっと
馴染みます。テープ
接着部の居室に便利
なカバー付き。



【フローリングワイパー】
クリナーヘッドにある面アス
ナーに、市販のフローリング
シートを貼り付けて、



【ハンディーモップ】
お部屋にたまったほこりもサッと
ひとふき。マイクロファイバーの
モップ部分は取り外して洗濯可
能なので、清潔です。

NEW
ずっと使いたくなる
手ざわりの木製お掃除道具の会
(3回限定コレクション)

掲載番号 | 案内番号 | フェジシモノコレクション番号
735 | 022-01 | CN-440-952

月1個 **¥3,900** (税込価格)
3回エントリーでお申し込みの場合は
通常価格/月1個**¥3,000**(税込価格)
→3回エントリー価格 **¥3,510**(税込価格)

※1-3回目 10%OFF
※お正月の3回目エントリーキャンペーンについてのご注
意は必ずご確認ください。

■素材/天然木(ヒノキ/間伐材)、EVA樹脂、スチール、ナ
イロンなど モップ/ポリエステル90%、ナイロン20%(マ
イクロファイバー不使用)
■サイズ/フローリングワイパー-長さ約110cm(組み立て
時/ひも含まず)、底面幅約11cm、横約26cm 粘着
テープ用クリナー-長さ約22.5cm(ひも含まず)、幅約
17cm ハンディーモップ-長さ約45cm(ひも含まず)
※天然材のため、色・木目が多少異なります。 ※フ
ローリングシートには前面のドライタイプシートをご使用
ください。 ●毎月1個、3回限りの期間のお届けとなります。
(送料日本、中国製)

かわいい森を
クワイしよう



本物ぞっくり!
木でできた焼き菓子の
チャーム、トロリと
した森のジヤムも
おいそう!

a. Wミエハイ【トチノキ】/ b. バウムヘン【トチノキ】/ c. クッキー【ヤマザクラ】/ d. フラワークッキー【トチノキ】/ e. ステイックカット【トチノキ】/ f. ドライクッキー【ヤマザクラ】/ g. フラッツェル【ヤマザクラ】/ h. ハートクッキー【ヤマザクラ】/ i. ハビスケウト【トチノキ】

思わずバクトリと食べたい! 森の恵みで焼き菓子を。

国産の木材を使用したチャーム。木のやさしい風合いを生かしたデザインで、ポップになりがちなお菓子モチーフのアクセサリーも、ナチュラルに見せてくれます。チャームの香りをかくと、木の薫けたやさしい香りにホッといやされます。

暮らし活 Point
国産材の利用で、森に人の手が入り、元氣な日本の森を育てることができます。



ストラップ付きなので、携帯電話やポーチにつけるのはもちろん、ストラップを外してお手持ちのチェーンに付けてペンダントトップとして使ってもOK

すべて集めて遊べるようにコレクションしたらこんなにかわいい!! 焼き菓子の詰め合わせがたいなギフトの発売!



●1回のお届けセット例です。
森をイメージさせる
グリーン系の紙パッケージを
入れてお届け。

NEW

日本の森の恵みがトロリ
焼き立ての香りがたじょう
木のスイーツチャームの会
(9回限定コレクション)

掲載番号 | 案内番号 | フェジシモノコレクション番号
735 | 007-01 | CN-H39-925

月1個 **¥1,400** (税込価格)
■素材/本体/天然木、エキギキ樹脂、真ちゅう(真ちゅうが
含まれ)、ポリエステル、UVカットフィルム
■サイズ/チャーム-縦約1-2cm、横約2.5-4cm、厚み
約0.5cm ストラップの長さ約5cm 紙袋/縦約2.5-4cm、厚み
約0.5cm、色/木目調/前面の部分が多少異なります。
●毎月1個、9回限りの期間のお届けとなります。
このコレクションは9回のお届けで終了します。(日本製)



木の四季を
のぞいてみよう

飛驒の森で育まれた 木々の香りをいつも身近に。

飛驒の森で生まれた、香るウッドプレート、玄関や車内などに飾つたり、クローゼットの中にしたければ、森の香りが楽しめます。種類によってそれぞれに木肌の色や香りが異なるものもいろいろと、ほかの家に贈る森の香りを贈って、やさしい気持ちにひたりましょう。

購入するここで

森生活 point
国産材の利用で、森に人の手が入り、元気が日本の森を育ててきます。

飛驒の森の香りをお届け！
森を感じる フレグランスプレートの会

掲載番号 | 案内番号 | フォトリソコレクション番号
735 | 018-01 | CN-662-756

月1セット ¥800 (税込価格)
■セット内容(プレート1枚、1冊入りエッセイブック1冊)
■素材/天然木(ヒノキ、モミ、アスナロ、エッセイブック1冊)
■サイズ/プレート:縦約9cm、横約5.5cm、厚さ約5mm
■セット内容(プレート1枚、1冊入りエッセイブック1冊)
■天然木のため、色や木目が多少異なります。●毎月1冊、6種類のなかから、ローテーションで、1セットずつお届けします。2運目以降、お届け順序が変わることがあります。(日本製)



ヒノキ
エッセイブックの原料を採取する過程で森の手入れができて、日本の森の再生にも役立ちます。

ギョツと握ってホットと息 心とからだをリラックス♪

アファンの森の木を使ったマツサージュアイテム。アファンの森に実在する植物、ドングリ、タマコタケ、コナラをモチーフにし、無塗装で仕上げているので、なでることによって色や香りが出ます。やさしい肌ざわりとかわいいう見えた目で、心とからだの緊張をどきほぐして。

森生活 point
国産材の利用で、森に人の手が入り、元気が日本の森を育ててきます。

アファンの森 いやしマスコットの会
掲載番号 | 案内番号 | フォトリソコレクション番号
735 | 018-02 | CN-439-475

月1個 ¥900 (税込価格)
■素材/天然木(コナラ、クヌギ、カエデなど)
■サイズ/縦約5~7cm、横約3~5.5cm、厚さ約1~5.5cm(商品により異なります) ※天然木のため、色、木目が多少異なります。●毎月1個、3種類のなかから、ローテーションで、1個ずつお届けします。2運目以降、お届け順序が変わることがあります。(日本製)



アファンの森とは
人と自然が共生する里山の境を目標し、作務のC.W.ニコルさんが里山再生の放り投げた薪を、1996年より少しずつ買い取り、薪の再生活動を進めています。薪の境元だけでなく、生け垣のフィートワークや「エコツリースム」の可能性をさぐる場ともなっています。



※2012年6月3日にアファンの森で「癒える森生活」実施。(詳しくは12ページをご覧ください)

いつでもどこでも森の中にいる気分を味わおう♪

ヒノキの間伐材を使用した万華鏡。春はサクラ、夏は濃緑、秋はモミジ、冬は雪と、四季折々に表情を変える森の景色を表現しました。都会にいなからにして、手紙に季節の移ろいを感じることが出来ます。ヒノキのやさしい香りと手ざわりも楽しんで。

森生活 point
国産材の利用で、森に人の手が入り、元気が日本の森を育ててきます。

春夏秋冬、森の美しい形式をどきめしました。



春 華やかに咲き誇るサクラ
夏 生き生きと輝く緑葉
秋 静を赤く染めるモミジ
冬 しんとと降り雪の結晶



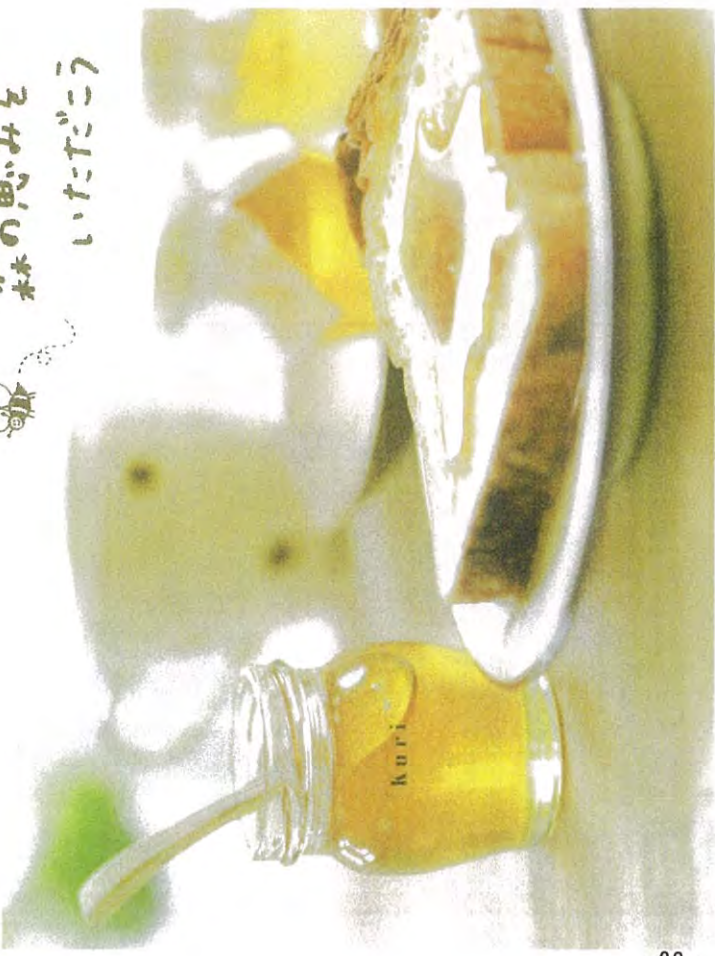
襟帯やばんなどに取り付けられるコード付き。気分に合わせて、付け替えて持ち歩いて。

NEW
四季を感じる森のカレイドスコープの会
(4回限定コレクション)

掲載番号 | 案内番号 | フォトリソコレクション番号
735 | 011-01 | CN-441-102

月1個 ¥4,200 (税込価格)
■素材/天然木(ヒノキ/間伐材)、真ちゆう(銅、亜鉛)等、亜鉛(牛)、ガラス、合成皮革など
■サイズ/縦約20cm、横約2cm、高さ約4cm
※天然木のため、色、木目が多少異なります。●毎月1個、4種類のなかから、1個ずつお届けします。このコレクションは4回のお届けで終了します。

木の恵み
を
いただく



香り高い森の木の花から採った貴重な国産はちみつ
自然が育んだ贅沢な味わいを召しあがれ。

現在ではめったに手に入らない貴重な国産はちみつは、コレクショナル、植物の恵みそのまま閉じ込めたやさしい甘い味わいが、アーストやヨーグルト、お砂糖代わりに紅茶に溶かすのもおすすめです。種類によって色合いが異なるので、ティーブルやキッチンに並べてかわいいインテリアにも。

森生活 Point
みつばちが水々の受粉を助けた日本の森の生態系を豊かにすることができず、

購入するここで



森生活 Point
みつばちが水々の受粉を助けた日本の森の生態系を豊かにすることができず、

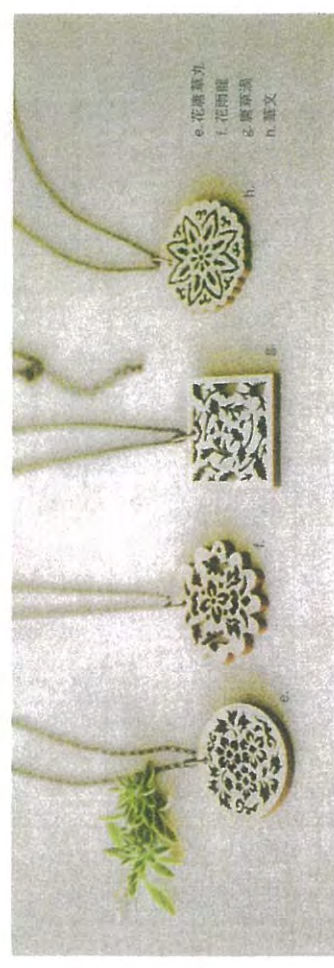
購入するここで

NEW
日本の森からの贈りもの
国産はちみつ

掲載番号 | 案内番号 | フェリスモコレーション番号
735 | 020-01 | CN-439-279

月1個 ¥1,200 (税込み価格)
■内容量/110g
■原材料/国産はちみつ100% ※国産品の特
■外寸/びん:高さ約6cm、容量約7.5cm
■送料・送料は別途お見積りです。
種類の中から、ローテーションで、1個ずつお届けします。
2週目以降、お届け順序が変わることがあります。
(製造加工:日本)

さまざまな木の
表情を楽しむ



ナチュラルスタイルに合う
繊細な日本の自然のデザイン。

日本の森の国・高知県産のヒノキの間伐材から生まれたペンダント、モチーフは生命力あふれるツタやツツジなどを表現した、日本の伝統文様を繊細な透かし彫りで仕上げました、自然を愛する心は時代を超えて日本女性の、美しさを引き立てます。

森生活 Point
個性によって健全な木々を育て、元氣な日本の森を育成できます。

購入するここで

アジャスター付きでサイズ調整が可能



シンプルに美しいに映える繊細なモチーフ、木のぬくもりとほのかな香りに、自然のパワーをもらえそう。

色や形を目で楽しむ
COLOR & SHAPE



日本の森から生まれた
森のアクセサリーの会

掲載番号 | 案内番号 | フェリスモコレーション番号
735 | 009-01 | CN-410-647

月1個 ¥1,500 (税込み価格)
■素材/モチーフ:天然木(ヒノキ/間伐材) チェーン:珠
■サイズ/モチーフ:直径約3.5~4cm チェーン:全長約
77cm(アジャスター含む) ※手づくりのため、形・サイ
ズが多少異なります。 ※モチーフは素材の特性上、変
色する場合があります。 ※モチーフの木のぬくもりや香
しみは、お楽しみください。 ※繊細なモチーフのため、ご使用の
際は引っかけにご注意ください。 ●毎月1個、8種類の
中から、ローテーションで、1個ずつお届けします。送目
以降、お届け順序が変わることがあります。
(モチーフ:日本製 チェーン:中国製)



透かし彫りの陰影を生むほど
よい彫み

*交換・返品は商品到着後10日以内のご返送分に限り受け付けます。詳しくは23ページをご覧ください。

ふたを開ければ森が広がる
日本の木の香りがひと箱に。

北から南まで日本の6つの森から生まれた小さな木箱。
ふたを開くとふわわりと木の香りが漂い、中には箱と同じ木から
作られたキューブとチップと自然芳香液が、木箱に入れた
チップやキューブの小さな穴に自然芳香液を垂らせれば
やさしい香りが広がります。やさしい手ざわりでコロコロとした
形のキューブは積み重ねて飾ればインテリリアのアクセントにも。
デスクやまくらもとに森のいいやしをお届けします。

購入すること
国産材の活用で、森に人の手が入り、
元氣な日本の森を育てています。



焼き印を入れている作業風景。
すべての工程は専門の知識を持った
オーグウェイレッジのスタッフが行っています。
個性ある木目や木肌を生かすために、
最後にひとつひとつを手しことで
丹念に磨いて仕上げています。

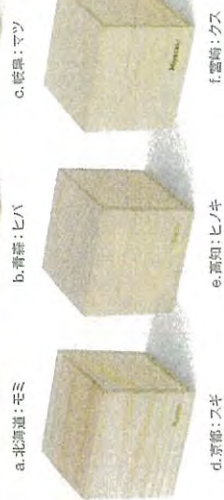
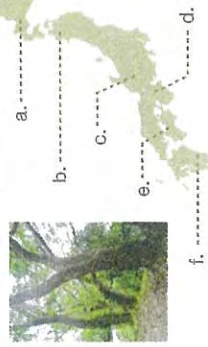


「mori hako」は飛騨高山の
木工所オーグウェイレッジとの
コラボ商品です。

自然豊かな飛騨高山(岐阜県)の森の中で、「新」と
生きる」を合い言葉に、環境と健康を考えたモノ
づくりをつづけているオーグウェイレッジさん。

日本各地の森を
旅する気分が味わえます

北海道、青森、岐阜、京都、高知、愛媛といった全国の森から
それぞれを代表する天然木を使用しています。それぞれ
微妙に異なる個性豊かな香りや木目も美しい。



mori hako

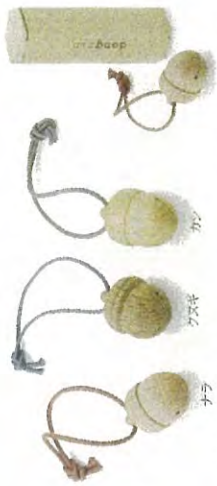
dongrin



MOKURINの新しい仲間。
dongrin. ちっちゃな音色にキユン。

やさしい手ざわりと音色が人気の木の結 MOKURINが、
どんぐりの形になって登場。どんぐりは北歌では命の象徴と
されているラッキーマーチーフ。木肌のやさしいぬくもりは、
さわっているだけでも気分が和みます。ふとしたときに
響る音色にも心がいいやされます。

購入すること
国産材の活用で、森に人の手が入り、
元氣な日本の森を育てています。



それぞれの樹種の
どんぐりの形をデザインしています。
落ち着いた色のストラップ
なので男性にもぜひ。

少し小さめのサイズ
なので酒の端にしても



“どんぐりを探して森へ行こう!”
秋ころになると公園や山や道端で
も、見つけることができます。鉢やブ
ランターで植えて育てて小さな森づく
りにあなたも参加して
みてはいかがでしょうか?



耳もとで揺らすとコロコロと音が響きます。天然の葉
材だからこそ奏でることができる、やさしい音色です。

dongrinの森は飛騨高山の木工所オーグウェイレッジとのコラボ商品です。

そのままキフトにもできる
手にすっぽり入るかわいらしい
パッケージに入れてお届けします。

new
森のいのちの葉のチヤーム
dongrinの会
(3回限定コラボレーション)

掲載番号 | 013-01 | CN-441-133
※送料別 (税込込み価格)

■素材/天然木(ナラ・クヌギ・カシ/天然オイル塗装)、ひも:
綿100%
■サイズ/幅約25cm、高さ約9~3.5cm (商品によ
り異なります) ひもは長さ約25cm ※天板の必要
色・木目が多少異なります。※天板木のため季節や気
候、湿度によって音色が変化する場合があります。
●毎月1回、3種類のうちから1個ずつお届けします。(この
コラボレーションは3回のお届けで完了です) (日本製)

木の音を奏でよう

MOKURIN® TREE

「ムクリン」MOKURIN®は、森が生きて成長するために採集した木を上手に使ったやさしい音色の木の鈴、たくさんの人がその音を聞かせることで繁茂を心願いも広がっていきましよう。



「ムクリン」MOKURIN®は、森が生きて成長するために採集した木を上手に使ったやさしい音色の木の鈴、たくさんの人がその音を聞かせることで繁茂を心願いも広がっていきましよう。

「ムクリン」MOKURIN®は、森が生きて成長するために採集した木を上手に使ったやさしい音色の木の鈴、たくさんの人がその音を聞かせることで繁茂を心願いも広がっていきましよう。

MOKURIN® TREEはMOKURIN®の
お家でのお声から生まれました。

- 「おもちゃととももも」を飾りながら音を楽しみたい方は、東京都でよりお家で木の音を聞かせる方が増えるように、お声から生まれました。
- 「おもちゃととももも」を飾りながら音を楽しみたい方は、東京都でよりお家で木の音を聞かせる方が増えるように、お声から生まれました。
- 「おもちゃととももも」を飾りながら音を楽しみたい方は、東京都でよりお家で木の音を聞かせる方が増えるように、お声から生まれました。

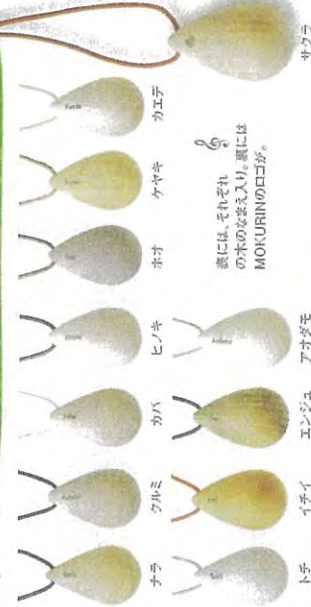
MOKURIN® TREEはMOKURIN®の
お家でのお声から生まれました。

「ムクリン」MOKURIN®は、森が生きて成長するために採集した木を上手に使ったやさしい音色の木の鈴、たくさんの人がその音を聞かせることで繁茂を心願いも広がっていきましよう。

MOKURIN® TREEはMOKURIN®の
お家でのお声から生まれました。

コロコロとやさしい音とやさしい木の質感にいやされよう

天然の木材で作ったかわいらしい鈴、木によって、音色、色味、手ざわりがそれぞれ異なるので、集めてその違いを楽しむのもおすすめです。バッグやポーチに付けて、木ならではのやさしい音色を楽しんで。



購入するまで
「森生活」基金により、広葉樹の森づくり活動を行うNPOを支援できます。

2袋共通
木のミニ型紙がわかるカード付です。

「MOKURINシリーズ」のご注意
※天然木のため、色・木目が多少異なります。※交差したため、色味や質感、強度にばらつきがあります。※「MOKURIN」は、国産の木材工場の「ワイルドウッド」シリーズの共同開発商品です。※「MOKURIN」は、国産の木材工場の「ワイルドウッド」シリーズの共同開発商品です。

「森生活」基金により、東北の森づくり活動を行うNPOを支援できます。



a. プナ 白山山道に伐採される薪の母 b. アカマツ 九州街道に今も薪木が積る薪の木のc. クリ 豊稔の森を伝える豊山の木 d. ヤマナシ 香取宮治の重徳でも知られる薪の母e. ヒバ 北国の美しい風景に馴染み、昔も今も日本古来の木 f. クワ 古き時代、美質をまえた産地の木

自然からの贈りもの 森を育てる木の鈴 MOKURIN の会 (12月限定コレクション)

振替番号 案内番号 フェリス・コロケーション番号
735 015-01 CN-668-332
月1割 ¥1,200 (税込込み価格)

「ムクリン」MOKURIN®は、森が生きて成長するために採集した木を上手に使ったやさしい音色の木の鈴、たくさんの人がその音を聞かせることで繁茂を心願いも広がっていきましよう。

「森生活」基金により、東北の森づくり活動を行うNPOを支援できます。

「森生活」基金により、東北の森づくり活動を行うNPOを支援できます。

「森生活」基金により、東北の森づくり活動を行うNPOを支援できます。

「森生活」基金により、東北の森づくり活動を行うNPOを支援できます。

「森生活」基金により、東北の森づくり活動を行うNPOを支援できます。

「森生活」基金により、東北の森づくり活動を行うNPOを支援できます。

「森生活」基金により、東北の森づくり活動を行うNPOを支援できます。



木の動物たちをコレクション

森の仲間たちの

キュートな魅力がたっぷり！

日本の森に住む動物の形を、ヒノキの間伐材で切り出して、ポップなカラーで塗装しました。「森と海は恐人」という言葉からインスパイアされ、アクセントとして小さなプララネティックハートを埋め込みました。ナチュラルな印象が強い木のアクセサリーも、カジュアルに楽しめます。

暮らしの森

間伐によって産まれた木々を育て、元気な日本の森を育成できます。



シンブルな装いにも映えるかわいい彩色。アクセサリーの付きあがりから、森の仲間たちの魅力を表現しています。

チェーンの先にはそれぞれオニキスやサンゴなどの天然石をあしらひ、木と石の質感を両方楽しめます。

初回お試しキャンペーン
6 回限定コレクションの会
（6 回限定コレクション）

掲載番号 | 案内番号
735 | 010-01 | CN-874-638

通常価格 | 初回お試し価格
月1本 ¥2,700 → ¥2,500 (税込価格)

■素材/天然木(ヒノキ)/間伐材(アカリルケルケル産材)、プラスチックパーツ、真ちゅう(銀、金、銅など/厚さ約0.5mm)、天然石
■サイズ/チェーン長約2.5~4.5cm、幅約2.5~4.5cm、横約2.5~4.5cm、厚約0.5cm(デザインにより異なります) 全長約62~64cm(アジャスター含む、デザインにより異なります)
※天然石を使用しているため、色・形・サイズが多少異なります。また、使用する天然石はデザインにより異なります。

●毎月1回、6種類のなかから、1本ずつお届けします。(このコレクション48回のお届けで完了です)
※必ず送料お申し込み番号をご入力ください。
※2020年10月以降は通常価格でのお届けになります。(ワレシノ木お申し込み前にお申し込み済みの23パーセントの「暮らしの森」をお申し込み前にお申し込み済みのご注文)をお申し込みください。

(日本製)



あつちやなプラスチックティックハートがアクセント。プラスチックより軽いのも特徴

ぬくもりを楽しむ
TOUCH
木に宝ものを
つめこんで



使う人の思い出とともに物語を刻む、一生もののお道具箱。

国産のシワリザクラを使用してお道具箱。美しい木の素材感をそのまま生かした天然オイル仕上げなので、使い込めばほどに味わいが深まります。靴紐道具や小物、大切な宝ものなど、ごまごました収納にぴったり。

暮らしの森

間伐によって産まれた木々を育て、元気な日本の森を育成できます。



小道具箱として暮らしの中に溶け込みます。

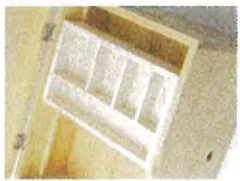


国産のシワリザクラを使っています

そのなまごころと、お道具箱の一種ですが、厚状に白い小さな花をたくさんつけます。寒さ厳しい北海道の響きに、心も暖かくなるように、森で最初に芽吹きます。



A4判サイズが収まる引き出しの中間にはおすの木の扉に、金具は最小限にとどめ、木肌心地よさを生かしました。



桐で作られたトレイの仕切り板は取り外し可能。



那珂高山の木工房「オーグワイルド」では、「100年かけて育てた木は、100年使えるものに。」という考えで、樹木の特性に合わせて向き合い、樹木の個性に合わせた活用で、次世代まで受け継がれるものづくりを目指しています。



小道具箱として暮らしの中に溶け込みます。

《ジャストワン》 100年かけて育てたい 大人の女性のためのサクラのお道具箱

掲載番号 | 案内番号
735 | 019-01 | CN-354-824

1 割 ¥ 18,000 (税込価格)

■素材/天然木(シワリザクラ/天然オイル仕上げ) 引出し(天然木/桐)、トレイ(天然木/桐) ヒノキ/杉/桧/上塗り/厚さ約1.5cm、幅約33cm、奥行約32cm
引出し(内寸)厚さ約1.5cm、幅約33cm、奥行約32cm
※天然木のため、色・木目・形が多少異なります。この商品はお申し込みいただいた日付よりお届けします。

(日本製)



2011年度はインドに約101万本を植樹。 東北での森づくりも支援。

あなたの100円で未来への贈りものを。

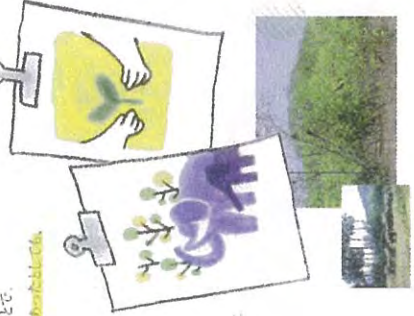
「次の世代に緑豊かな森を残したい」、そんな思いから1990年に発足した「フェリスモの森基金」。毎月1口100円を寄付しようかというかたちでご参加いただき、集まった基金で森づくりを進めています。これまで約3,877口以上のお客さまのご協力のおかげで、国内外39か所に「フェリスモの森」が生まれました。さらには商品と活動を通じて、緑化事業の支援、それを合わせて、これまでに2,665万本を超える本を植えることができました。100円という単位ではありますが、毎月、毎年と、積み重ねていくことで、多くの森を誕生させることができます。ひとりの力は小さくても、気持ちが集まること、たとえほんのりとした変化でも、それを思い続けることで、世界を変えることができると私たちは実感しています。

ゾウたちが帰ってきた森。

10年以上森づくりを続けているインドからは、常緑した土地に豊かな森がよみがえり、野生のゾウのたからが戻ってきたといううれしいニュースが聞かれました。植林が戻ったのは1995年。最初は、間もなく低かったインドの村人たちも、成長していく森の姿を見て、自ら管理するように。その結果、何もない荒野がみるみる青々とした緑が広がると成長しました。その数年後、村人たちが驚かせることが、これまでに姿を現していた野生のゾウの群れが村の森に帰ってきたのです。村人たちは地味で共存する動物たちも森の恵みを求めていた。とすべりつきました。今の村の子供たちは、以前この村に森がなかったことを知りません。けれど村人たちは、森を育てることで豊かな土地に戻ったことを子どもたちに伝え、これからずっと森とともに暮らしていこうと誓っています。私たちは、このインドでの「しめわなせ物語」が、これから人生を歩いていくことを願っています。



2011年の植林活動
【インド】西ベンガル州、
シカルガント州、オリッサ州に
約101万本を植樹。
【日本】神奈川県、沖縄県、
当手帳に約8200本を植樹。



次世代の地球と子どもたちのために。
あなたも「100円からの森づくり」始めませんか。

【フェリスモの森基金】では毎月1口100円から
みなさまから基金を募っています。
基金によって生み出された私たちの報告は、
お届けする案内書で皆様にお知らせしていきます。

いっしょに森をつくりにいこう！
参加者募集中！

あなたも植樹体験をしてみませんか？「フェリスモの森活動部」では、定期的にみなさまとともに植樹をしています。

【アファンの森】の森づくり参加者募集中！
開催予定日：2012年6月3日(日)10時～15時ごろ(予定)
開催場所：長野県佐久郡

日本の森をふたたび生命力あふれる豊かな森に戻したい、作務のC.W.ニコルさんが中心となりボランティア活動などを通して森づくりを進める、アファンの森。2003年から5年かけて「フェリスモの森基金」により約5000本を植樹しました。少しずつ豊かな生態系を取り戻し、豊かな森へと生長しています。今回、新たにトラストした土地に1300本の植樹を行います。その一部を植える活動に、あなたも参加しませんか？

※詳細、お申し込みは「フェリスモの森活動部サイト」をご覧ください。

フェリスモの森活動部 <http://feli.jp/j/mori/> (パソコンのみ)



木の香りで包まれる
私のお気に入りコナー



キューブの真ん中の穴にアロマ芳香液を2〜3滴たらすと、木の繊維に染み込んで、ゆっくり香りが広がります。



ナチュラルなパッケージなのでギフト用にアレンジするのもおすすめです。
※写真はアレンジ例です。
ひとめにはセットされていません。



●1個のお届けセットです。
1セットはすべて同じ種類の木がらできています。
日本の葉や木に詳しくなる情報カード付き。



香りで旅する日本の森
森の記憶を閉じ込めたmori hakoの会

掲載番号 | 案内番号 | フェリスモコレクション番号
735 | 012-01 | TN-667-821
月1セット ¥2,000 (税込み価格)
■7セット以上ご購入 キューブ型ディフューザー2個、
自然芳香液3ml、チップ1袋、情報カード
■素材/天竺木、自然芳香液
■サイズ/天竺木(外寸)約7×7×6cm キューブ型ディフュー
ザー約2.5×2.5×2.5cm ※天然木のため、色・目
が多少異なります。中心ディフューザーとしてご
使用いただけます。風についた埃は製品としての使
用にはなりません。 ●毎月1回、6種類のなかから、ローテー
ションで、1セットずつお届けします。2週目以降、お届け
順序が変わることがあります。 (日本製)

※交換・返品は商品到着後10日以内のご返送分に限りお受けします。詳しくは23ページをご覧ください。



木のぬくもりを生かしたデザインで、ナチュラルに素敵な私を演出。

問伐材をカットしたキューブ状のウッドパーツと、キラキラと光るメタリック樹脂のカット玉を組み合わせた、ちょっぴりくすんだコーラルトチエーンを使用することで、上品に仕上がりました。シーンを演じるには、気軽に楽しめるデザインです。

儚森活 Point 購入することで、問伐材によって健全な木々を育て、元氣な日本の森を育成できます。



(ネックレス)

シンプルだけれども底かにはないデザインで胸もとをキラリとどざりげなく彩ります。



木を身につけよう



(リング)

(ピアス) アシメトリーなので、動くたびにパーツがシャランと揺れます。片方だけつけても。

NEW

森の恵みかまきラリーと輝くアークセサリーの会 (3回限定コレクション)

掲載番号 | 案内番号 | フォリシモコレクション番号
735 | 008-01 | CS-440-464

お申し込みサイズ 9・11・13

月1本または1組 ¥2,200 (税込価格)

■素材/天然木(ヒノキ/問伐材)、メタクリル樹脂、真ちゅう(銀、亜鉛など/清金消しメッキ)
■サイズ/ピアス:全長約7cm(ロングタイプ)、全長約2.5cm(ショートタイプ) ネットレス:全長約47cm(7センチターナー含む)
リング: フォリシモコレクション番号

指環サイズ(mm)	9	11	13
指環内径	49.2	51.3	53.4

※お申し込みの際は、ご希望サイズ(9・11・13)を必ずご記入ください。※ピアスとネックレスには希望のサイズによる違いはありません。※手づくりのため、リングのサイズは多少異なる場合がございます。指環のサイズを自由にしてください。※天然木のため、色・木目が多少異なる場合があります。●毎月1回、3種類のうちから1組または1組ずつお申し込みします。(このコレクションは3回のお届けで完了します。)

(日本製)



木の恵みで作るおいしい食事

使うほどに手になじむのでずっと大切に愛用できちゃおう!

四万七千七ノキを使った手づくりヒノキは軽くて、油なじみがよいので、キッチンツールに沿うよう、使いやすいです。自然と手に沿うよう、職人さんがかんがえていないに作った逸品です。

この商品は、問伐材を使っています。3.9マークとは、素材に問伐材(ワンキューブ)のみならず、問伐材(無垢)も使用し、CO2削減に貢献しています。A-11060016 別のシリアルナンバーです。

3.9 MARK

儚森活 Point 購入することで、問伐材によって健全な木々を育て、元氣な日本の森を育成できます。

種から見て、やわらかな曲線が美しく、機能的に使いやすいデザイン。



「輪める」の使い方は、中央の大きな穴で具材がよく回り、材料が滑りやすくて、トッピングもよくなじみます。

木の恵みで作るおいしい食事

四万七千七ノキの職人さんの手仕事が変わる、ワザあがりキッチンツールの会 (4回限定コレクション)

掲載番号 | 案内番号 | フォリシモコレクション番号
735 | 021-01 | CN-679-912

月1本 ¥1,900 (税込価格)

■素材/天然木(ヒノキ/問伐材)
■サイズ/長さ約7~30.5cm ※食器洗い機・漂白剤使用不可 ※天然素材で手づくりのため、色や厚みが多少異なります ●毎月1回、4種類のうちから1本ずつお届けします(このコレクションは6回のお届けで完了します) (日本製)

森の木々がカトラリーになって、食卓をやさしく彩る。

国産の木材を使用したカトラリー。種類ごとに違う木を使用しており、実際に生えている木の高さをカトラリーのサイズで表現しました。金属にはないやさしい口当たりと、手になじむ肌ざわりをぜひ毎日の食卓で感じてください。

儚森活 Point 購入することで、問伐材の利用で、森に人の手が入り、元氣な日本の森を育成できます。

NEW 五感でぬくもりを感じる木のカタラリーの会 (6回限定コレクション)

掲載番号 | 案内番号 | フォリシモコレクション番号
735 | 021-02 | CN-438-847

月1本または1セット ¥1,200 (税込価格)

■素材/天然木(ワレナシ/問伐材)
■サイズ/長さ約11~19cm(商品により厚み異なります) ※食器洗い機・漂白剤使用不可 ●毎月1回、6種類のうちから1本または1セットずつお届けします。(このコレクションは6回のお届けで完了します) (日本製)



食卓でも森を感じよう



集めて飾れば、食卓に小さな森が生まれます。

それぞれの木の高さをイメージしたサイズ感になっています。



おうちにも
森をつくろう



ありそうでなかった和紙の布！
ナチュラル感と機能性が両立

天然の紫外線カット機能がある和紙でできた糸を使った帽子。なんと加工なしでUV95%カットしてくれるすぐれもの。広めな深めのつばで日差しから顔、手足を守ります。リネンのようにざらりとした手ざわりも魅力的で、木の色をいかしたナチュラルなカラーとシンプルなデザインは年齢にも似合います。通勤にもカジュアルスタイルにも似合います。

森生活 Point 購入するだけで
和紙によって健全な木々を育て、
元氣な日本の森を育ててきます。

ナチュラル(無染色)

ワットベージュ

ワットブラウン

95% UVカット
折りたためるから
バッグの中に
コンパクト収納

NEW 問伐材の和紙から生まれた
洗えるためたためるナチュラルUVハットの会
(3回限定コレクション)

掲載番号 | 案内番号 | フェリシモコレクション番号
735 | 025-01 | CN-438-830

月1個 ¥4,700 (税込各価格)

■素材/綿60%、麻/紫外線遮断和紙(問伐材100%)
50% ※手染め可

■サイズ/頭囲59~57.5cm(調節可能) ※UVカット値
95%以上 ※地面からの紫外線強度対策に、日焼け
防止クリームなどの併用をおすすめします。 ●第1回、3
回、3種類のなかから、個ずつお届けします。(このコ
レクションは3回の期間で完了します)
(生地:日本 中国製)



問伐材の和紙布の話
問伐材の和紙布とは、問伐材を細かく砕き、紙の原料として用いて仕上げた和紙を細いテープ状に切り、その敷本をぬいっことでできた「糸糸(いといと)」を使って織った布です。上質な間伐材は身に着ける人の心まで豊かにする極上の天然素材。気盛に洗えて、洗ってもUVカット機能は持続するのが特徴です。





木と遊ぼう

大人も子どもも夢中になれる遊び方無限大の木ののおもちや

「木に気軽にふれる機会を増やせば」そんな思いから誕生した、「木」の文字を大胆にデザインした木のコマ。動物柄の焼き印がとってかわわい。積み木遊びをすもよし！インテリアとしてディスプレイするもよし！工夫次第でいろいろな遊び方をみつけて、木の手さわりや香りにもふれながら自由に発想を膨らませて遊んでください。

購入するこまで
間伐によって健全な木々を育て、
元氣な日本の森を育ててきます。

●1個のお紙材は10個です。
※焼き印は片面のみです。



NEW

木を楽しむ ツリーマニアの会

掲載番号 | 735
027-01 | CN-439-729

月1セット ¥1,100 (税込価格)

■セット内容:木のコマ10個(10個入り)・作り方説明書
■素材/天然木(ヒノキ)・厚み約3mm
■サイズ/縦約4cm・横約3cm
■木のため、色・木目が多少異なります。●毎月1個、6種類のなかから、ローテーションで、1セットずつお届けします。2週目以降、お届け順番が変わることがあります。(日本製)



ツリーマニアの遊び方(例)

- 【遊び方1】ツリーマニア
3個の木コマを並べて、真(1)の向きを合わせ、互いのコマを打ち合う(2)の向きを合わせ、互いのコマを打ち合わせる(3)の向きを合わせ、互いのコマを打ち合わせる。
- 【遊び方2】リバーシ
2人で対戦。お持ちのリバーシのコマを打ち合う(1)の向きを合わせ、互いのコマを打ち合わせる(2)の向きを合わせ、互いのコマを打ち合わせる(3)の向きを合わせ、互いのコマを打ち合わせる。
- 【遊び方3】ツリータワー
1人か2人以上で対戦。お持ちのリバーシのコマを打ち合う(1)の向きを合わせ、互いのコマを打ち合わせる(2)の向きを合わせ、互いのコマを打ち合わせる(3)の向きを合わせ、互いのコマを打ち合わせる。
- 【遊び方4】ドミノ
お持ちのリバーシのコマを打ち合う(1)の向きを合わせ、互いのコマを打ち合わせる(2)の向きを合わせ、互いのコマを打ち合わせる(3)の向きを合わせ、互いのコマを打ち合わせる。
- 【遊び方5】積み木
木のコマを積み重ねる。お持ちのリバーシのコマを打ち合う(1)の向きを合わせ、互いのコマを打ち合わせる(2)の向きを合わせ、互いのコマを打ち合わせる(3)の向きを合わせ、互いのコマを打ち合わせる。
- 【遊び方6】森の神様
お持ちのリバーシのコマを打ち合う(1)の向きを合わせ、互いのコマを打ち合わせる(2)の向きを合わせ、互いのコマを打ち合わせる(3)の向きを合わせ、互いのコマを打ち合わせる。

「LET'S PLAY TREE-MANIA」
フレキシモの森活動では、「子どもたちにもっと木に親しんでほしい！」との思いから、全国の幼稚園・小学校を対象に、5,000個のツリーマニアのレンタルを開始します。詳しくは、ホームページで確認ください。
レンタルの詳細は → <http://feli.jp/j/tree/> (パソコンのみ)

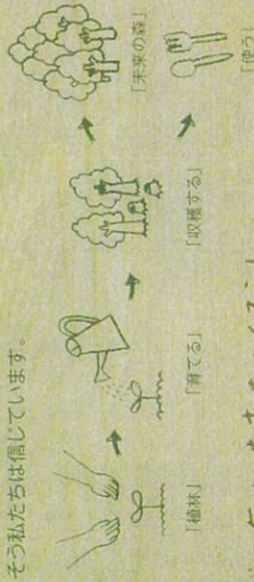
こんにちには、フレキシモの森活動部です。

森活動部はフレキシモ社員の有志の部活動です。いつもはお客さまと一緒に植林活動などを行っています。日本の森はもっと伐って使わなければならないという話を専門家の方から聞いて、みんなて森の商品を作ってみることにしました。

テーマは「お買い物で「森活」です。

「どんなデザインなら、みなさまに喜んで使っていたただけるだろうか？」
「木ならではのよさを生かしたアイテムにしたいよね。」
「森を育てることにつながるなら、木製品でなくてもいいんじゃないかな？」
……わいわい、わいわい。

「楽しい」「かわいい」と思えるものを、みんなで作りました。お客さまがそれを暮らしの中で楽しんで使っていたただけるなら、それが未来の元氣な森を育て「森活」の第一歩。そう私たちは信じています。



人と森が元氣な未来をつくらう！

「フレキシモの森基金」でこれまで20年以上に渡ってともに手をたすさえて世界中に森をつくってきた私たちとみなさまなら、新しい暮らしのあり方で、人と森がお互いを元氣にする、そんな未来の地球をつくることもできるはず。暮らしながら参加する、「フレキシモの森活動部」ようこそ！

一緒に「森活」を始めませんか？ただ今「森活パートナー」募集中

私たちの活動に共感していただける方、市民グループ、企業などがいっぱいあります。下記の方へアクセス！あなたができることを「森活」につなげましょう！ <http://feli.jp/j/mpartner/> (パソコンのみ)

メイン展示

Hanem Hut

必要最小限かつ充分、エネルギーも自給する
間口3m×奥行き4mのひとり暮らし用の小屋

中庭に建てられたのは、家具や道具も含め、部屋の彩りしを揃えることを想定した小屋。展示用の建て込みや視覚ではなく、実物そのものです。

見どころ

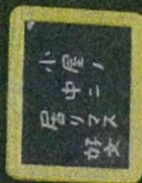
●小さいながら、音断ちトイレもシャワーもあり（国産の洗濯機までありませ）住宅として必要十分な大きさであること。

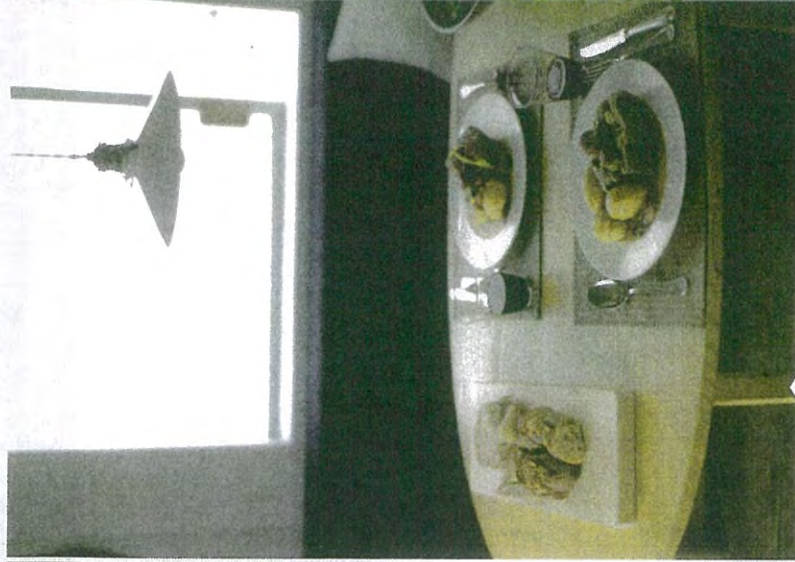
●間口3m×奥行き4mの小間の床、壁、屋根は木の三層パネル（日本産）を構造にしており、素人でも器用な人なら容易に塗装、組立、分解できるクレファエ建築であること。

●電線・電話線・水道管・下水道管・ガス管などの「線」と「管」に纏がっていない省エネルギー・省資源型で環境負荷の低減に少ないエコロジカルな建物であること。

●内部は、音断ちの家具、クッション、照明器具の他小物にいたるまで、この小屋のためにデザインし、作ったものであること。

テラスから入るとすぐはメインの部屋。壁がキッチンで、その左手にバスルームがある。出入口の扉はアウトセットの引き戸。裏面に貼るときには、用戶や扉をつけることになる。



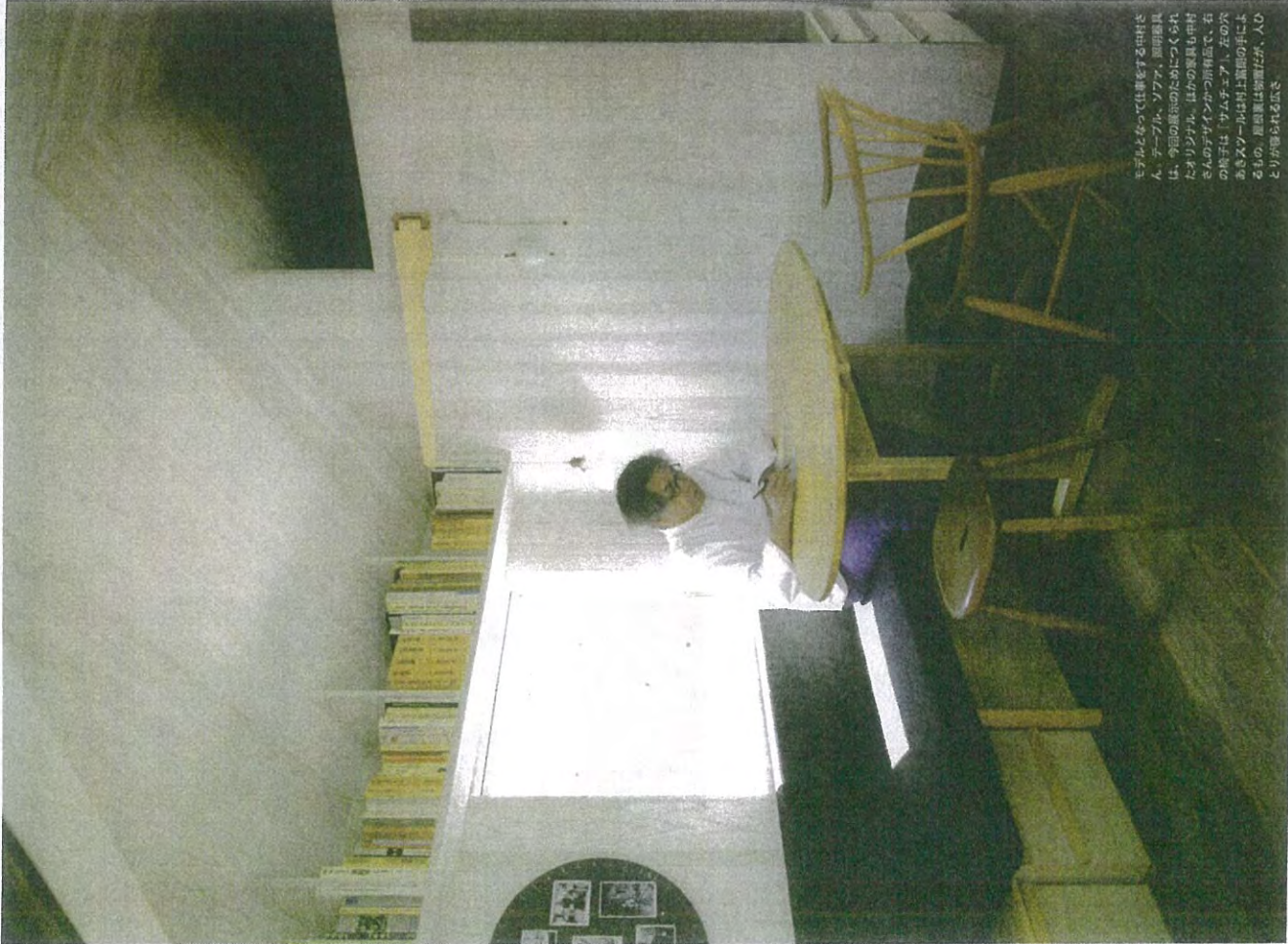


Hancom Hut
内部
[居場所編]

Hancom Hutのダイニングキャリビニング+仕事場+ベットのルームは、約3m×2.4m。
人ひとりの居場所は、これで必要充分だと納得させられます。



上述、ときには2人でお客様、を
迎えて。上座、本はすべて中村
さんの蔵書。ちょうど100冊が収
まっている。小皿の友人たちの愛
蔵が並べられているのは、最後(多
く)石原のスイーヴンカッター(た
まもの、下巻、期間にも大活躍す
るクワキングストーン)。下中、チ
ーブルの周囲には強い油球(0ま
だし)がついている。メガネに少
ンタ・マリア・ノヴェッタのキヤ
ンチイなど。下巻、文字盤のない
腕時計は、豊城一さんの作品。



モリスと違って仕事をする田村さ
ん。テーブル、ソファ、照明器具
は、今回の展示のためにつくられ
たオリジナル。ほかの家にも中村
さんのデザインがついたソファで、右
の椅子は「サムチェア」。左の穴
あるスツールは村上隆の作による
もの。展示室は物置だが、人ひ
とりが確保される広さ。

羽根建築工房の下小屋で行われた仮組み



●プラ管で水平を出し、4000×3000mmの土台を組み立てる。サイズは、材料を無駄にしないよう、Jハネルの大きさを参考に組み立てられた。



●根太を渡し、所定のJハネルを据えている。Jハネルは形張を3層にしたもので、ここで使ったのは1000×2000mm、厚さ36mmのもの。ちようど6枚。



●基本躯体であり、内部の仕上げ作業はJハネルを立てていく。窓の部分はあらかじめカットしてある。



●入り口部分の壁を取り付ける。



●最後に屋根を張っていく。



●完成部分が増えてきた。これをいったん閉鎖して、東京に運ぶのだった。

MAKING OF Hanem Hut

Hanem Hutを施工したのは、これまでも中村さん設計の小屋や住宅を手がけている大原の羽根建築工房。床、壁、屋根すべてが、Jハネルで、プレカットした材をプログラムモデルのように組立てていく仕組み。構造は単純だが、施工には精度の高さが要求されたという。本番に先立ち、仮組が行われ、過程を記録した映像が会場で上映された。Hanemとは、羽根建築工房の羽根とレミングハウスのLemmmから。

ギャラリー一隅での地鎮祭と組立工事 (3月30日-4月2日)



●Hanem Hutの重工に先立ち、地鎮祭が行われた。神主は、グラフィックデザイナーでもある、山口隆博さん。



●原田と同じように組み立てていく。



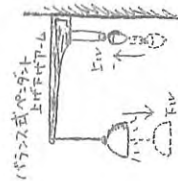
●窓枠は外部に取り付けられている。引き戸を企画すると、窓はぽっかり開けたようになって、風障がまわりに見える。



●屋根の上はエネルギーワークを取り付ける。ここにソーラーパネル、雨水を溜める水櫃、風車を設置する。



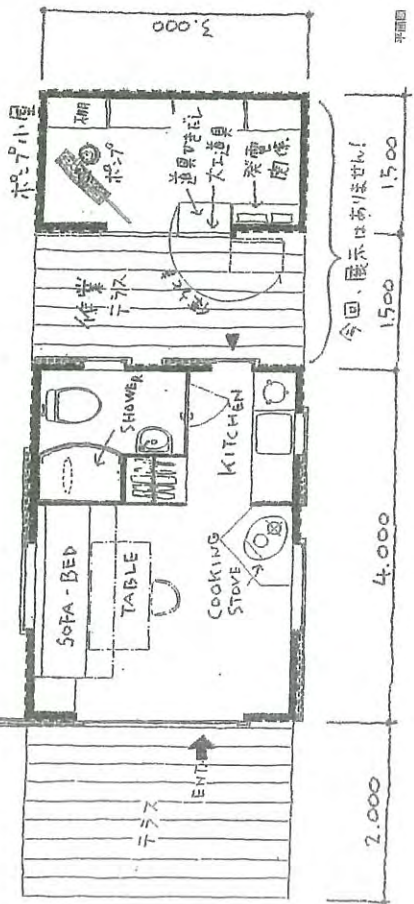
●外壁には断熱を取り付けた後、カラマツの板が張られた。じつはこの材料、吾竹順三設計の原型の外壁が張り替えられた際、中村さんが使っていたもの。



4階敷小屋の内部に展示された、Hanem Hutの図面とスケッチの中から、すべてを手描きで、ときにはトレーシングペーパーを重ねて張られて、改良や検討の跡が窺われました。

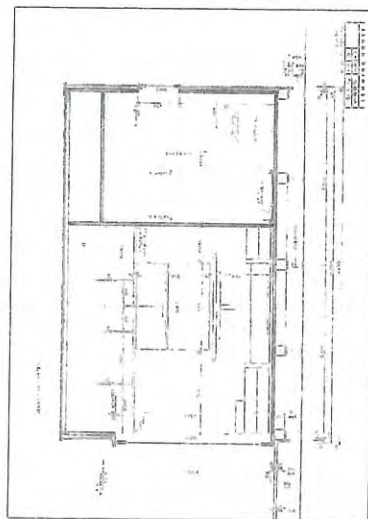
Hanem Hut

図面とスケッチ集

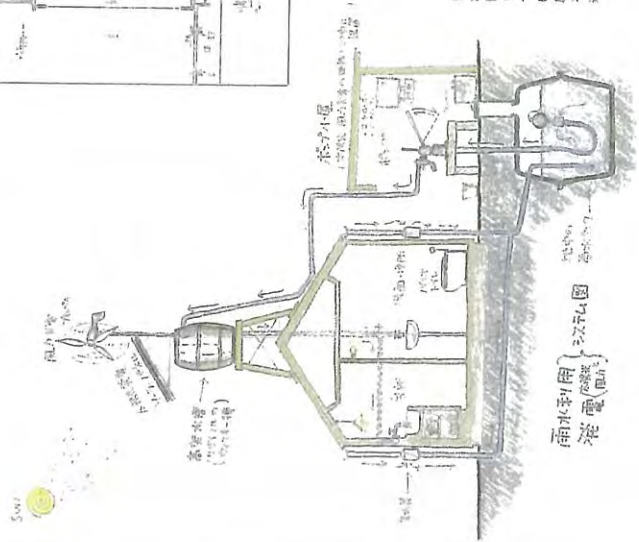


平面図 1/60

今回、展示はあきらめず！
15.00
15.00



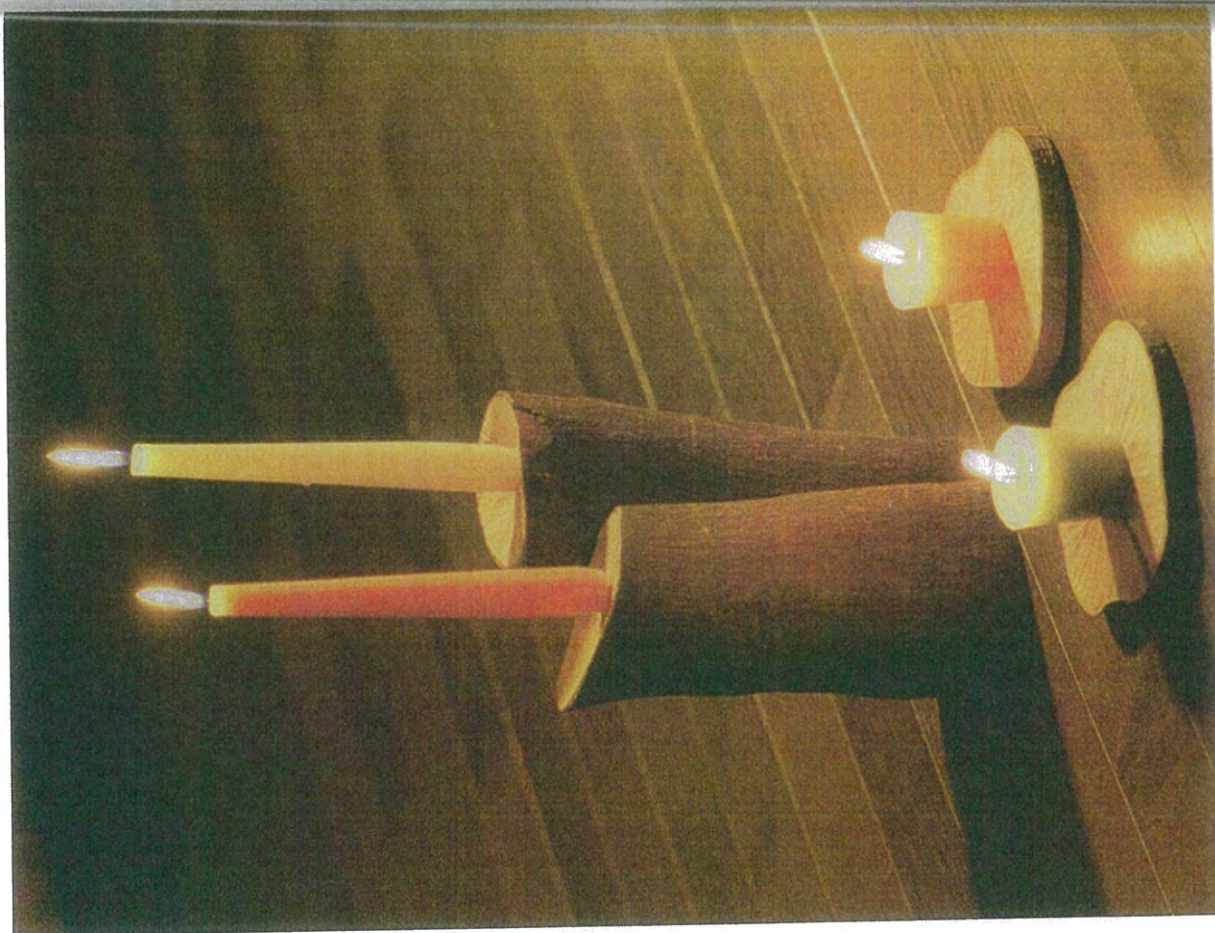
断面図



雨水利用・発電(太陽光・風力)システム図

ビル内部の断熱だったため、実際に使われるまでには、Hanem Hutは、エネルギーも断熱も両方備える層で設計されている。風力と太陽光で発電してバッテリーに蓄電。ワイズキーボードやリサイクルした断熱材で雨水を集め、地下のタンクに溜め、ポンプで床下へ送る。実際、中村さんは羽根山の麓に建てた自身の小屋「Lemmm Hut」で、同様の仕組みを実験中である。その作り立ちと運用方法は中村さんの得意「作り続ける」および「小屋暮らし」(PHP研究所)に詳しい。

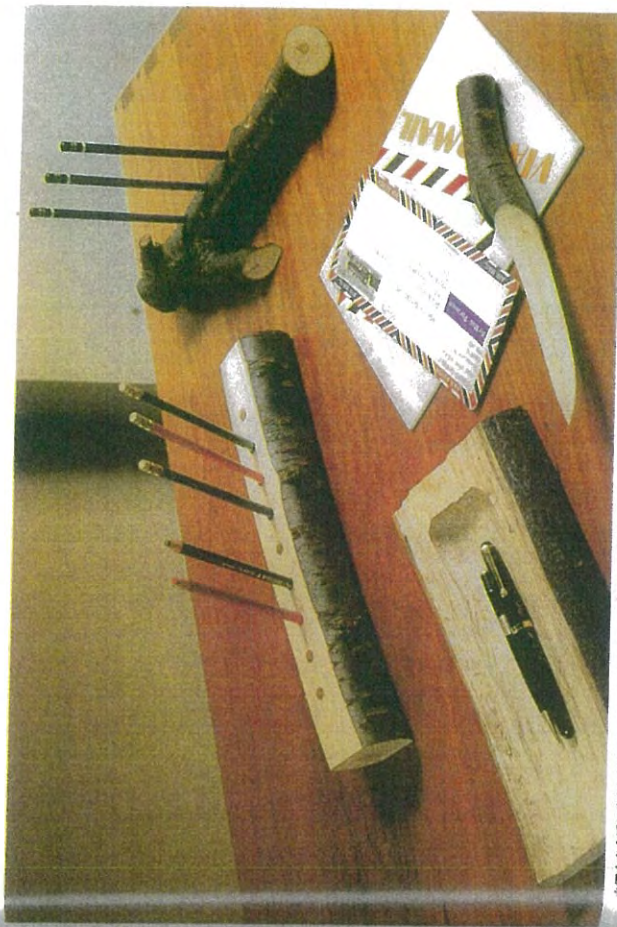
雨水利用
発電(太陽光・風力)



細らぬくが能り削に簡妙な輪郭をつける「キャンドルスタンド」▶ 60ページ(作品・10)



アクリル板で隙をシースルーの「卓上フォトスタンド」▶ 66ページ(作品・15)



小櫃木を上手に生かした「ペンシルスタンド」▶ 59ページ(作品・8)
 原目の割り線を描いた「ペーパーナイフ」▶ 58ページ(作品・3)
 小櫃木を削った「ペーパーナイフ」▶ 58ページ(作品・3)



現状



A



B



C

J-クレジット制度

設備投資や森林管理で環境価値の創造を

J-クレジット制度とは？

省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用によるCO₂の排出削減量や、適切な森林管理によるCO₂の吸収量を、クレジットとして国が認証する制度です。

認証されたクレジットは、購入することができ、低炭素社会実行計画の目標達成やカーボン・オフセットなど、さまざまな用途に活用できます。また、クレジット購入代金は、クレジット創出者に還元され、さらなるCO₂排出削減/吸収の取組や、地域活性化等に活かすことができます。

J-クレジット制度の仕組み



J-クレジットの認証

J-クレジット創出者 (中小企業、農業者、森林所有者、地方自治体等)

メリット ランニングコストの低減効果+クレジットの売却益等



ヒートポンプ

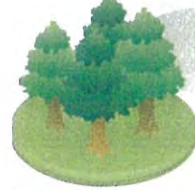


バイオマスボイラー

省エネ低炭素
設備の導入



太陽光発電



森林管理

植林・間伐等



資金

資金
循環

クレジットの売却



J-クレジット
(CO₂排出削減量/吸収量)

J-クレジットの購入者 (大企業、中小企業、地方自治体等)

メリット 低炭素社会実行計画の目標達成、温対法の調整後CO₂排出量の報告、カーボン・オフセット、CSR活動 等への利用)

J-クレジット制度利用による森林所有者の特典と制約

特典

① クレジット販売による収入

過去に実施した間伐による CO₂ の吸収量を商品化し、これを販売することで森林所有者の皆様に還元します。

例) 1ヘクタール分のクレジットが売れたとき (数値は平均的なものです)



② 地球温暖化対策への積極的な取組に対する PR 効果

③ クレジット販売先とのネットワークの構築 (川上と川下でのお金の循環や人の交流のきっかけに)

制約

① 主伐を行わないこと

平成 33 年 3 月 31 日までの間に、プロジェクト実施地において、主伐を行わないで下さい。

※どうしても主伐を行う場合、クレジットの発行対象地から除外させていただきます。

② 土地転用および不適切な主伐を行わないこと

平成 43 年 3 月 31 日までの間に、プロジェクト実施地において、土地転用および不適切な主伐など温室効果ガス吸収効果を消失させる行為を行わないで下さい。

※道路用地や送電線用地の収用など、避けがたい土地転用は除きます。

※不適切な主伐とは、森林経営計画に基づかない主伐、伐採後に植林など行わず放棄するものを言います。

J-クレジット制度 よくある質問と回答

質問1 J-クレジット制度って何？

J-クレジット制度とは、省エネルギー設備の導入や森林経営などの取り組みによる、CO₂などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。この「クレジット」は、低炭素社会実行計画の目標達成やカーボン・オフセットなど様々な用途に活用できます。

質問2 カーボン・オフセットって何？

カーボン・オフセットとは、自分の温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部または一部を他の場所での排出削減・吸収量でオフセット（埋め合わせ）することをいいます。

質問3 クレジットの販売価格は、自分（個人ごと）で決められますか？

自分（個人ごと）では決められません。登録されたプロジェクトごと価格を設定します。

質問4 5,000円/t-CO₂という価格は高いのか、それとも安いのか？

クレジットの価格は、クレジット提供者とクレジット購入者との相対取引になりますので、決まった価格はありません。双方が合意した価格が取引価格となります。

質問5 クレジットが売れた場合、どれぐらいの収入になるのか？

【例】1 ha 分のクレジットが売れた場合、約 10,500 円の収入になります。

〔計算式〕

森林 1 ha あたりの CO₂ 吸収量は、約 7 t -CO₂ です。

これを 5,000 円/t-CO₂ で販売すると、1 ha あたり 35,000 円となります。

この 30%が森林所有者へ還元されますので、1 ha あたり約 10,500 円の収入となります。

質問6 クレジット販売収入の 70%がプロジェクト実施者に配分されますが、何に使われますか？

プロジェクトを登録する際に、第三者機関による確認・検証が行われます。また、登録する際にはモニタリング（温室効果ガスの吸収量の定量化に必要なデータや情報の入手または計測すること。）や測量を行わなければなりませんの

J-クレジット森林管理プロジェクトにおける
プロジェクト実施地に関する持続性確認およびクレジット販売に関する覚書

J-クレジット制度におけるプロジェクト登録の申請に関して、プロジェクト実施者である根羽村森林組合（以下「甲」という。）と、プロジェクト実施地の土地所有者である〇〇〇（以下「乙」という。）は、下記の事項に合意した。

記

- ① 乙は、当該プロジェクト登録日以降、平成 33 年 3 月 31 日までの間に、当該プロジェクト実施地において、主伐を実施しないこと。
 - ② 乙は、当該プロジェクト登録日以降、平成 43 年 3 月 31 日までの間に、当該プロジェクト実施地において、土地転用（収用などの避けがたい土地転用を除く。）及び不適切な主伐（森林経営計画又は森林施業計画に基づかない主伐や伐採後の放棄）等温室効果ガス吸収効果を消失させる行為を行わないこと。
 - ③ 乙は、甲が、当該プロジェクト登録日以降、平成 43 年 3 月 31 日までの間、毎年度（4 月 1 日～3 月 31 日）の当該プロジェクト実施地に係る森林経営計画又は森林施業計画、同計画認定書、伐採届及び造林届を、翌年度 6 月 30 日までに制度管理者に提出する際、必要な書類を甲に提供すること。
 - ④ 乙は、当該プロジェクト登録日以降、平成 43 年 3 月 31 日までの間に、第三者に当該プロジェクト実施地を譲渡する契約を行う際には、約款（プロジェクト実施者用）を遵守する契約主体としての地位及びこれに係る義務を譲受人に継承させるとともに、譲受人から制度管理者に対して、譲受人が約款（プロジェクト実施者用）を遵守する契約主体としての地位を承継すること及びこれに係る義務を継承することを内容とする誓約書を提出させること。
 - ⑤ 乙は、甲が、平成 34 年 6 月 30 日までに認証対象期間終了時の森林状況及び認証対象期間中の吸収量の累計を制度管理者に報告する際、必要な情報を甲に提供すること。
 - ⑥ 甲は、J-クレジット制度に申請および登録、認証の手続きを行い、クレジットの発行および販売する権利を有する。甲は、クレジット販売の収益のうち 30%を乙に分配するものとする。
- 以上を合意した証として、本書面を 2 通作成し、甲乙署名捺印の上、各々 1 通を所持する。

平成 年 月 日

甲 住所 長野県下伊那郡根羽村 407-10 番地
氏名 根羽村森林組合
代表理事 大久保 憲一

乙 住所
氏名

根羽村内でスギ立木を中心とした雪折れ被害が発生
～気象被害に強い健全な山づくりに向けて～

去る2月14・15日の降雪により、村内のスギ林を中心とした約150ヘクタールの森林が雪折れの被害を受けました。今回の雪折れ被害が特に著しかったのは、堂の入、小川、中野、荊野等の村内中央部の標高600mから900m付近の、樹高の割に幹の細いスギ40～60年生の人工林でした。この地域に雪折れが集中した原因は不明ですが、被害を受けた標高から推察すると、降雪の後に降雨があり、それが気温の低下と共に冰雪状態として立木の樹冠が凍結した後、さらに降雪があつて、凍結状態の冰雪の重みと降り積もった雪の重みに耐えきれずに、特に15日の朝方にかけて雪折れが発生したと考えられます。標高600m以下は雨が強く、900m以上は降雪のみで、樹木への重量的な負担が少なかったのではないかと考えられます。飯田地方でも記録的な大雪であり、今回の雪害は最近の根羽村では見られないものでした。

今後こうした雪折れ等の気象被害を回避するためには、山づくりの基本どおり隣合う立木の枝と枝が接したら速やかに間伐を行い、立木の形状比（樹高÷胸高直径）が80以下になるように樹高に見合った太い木を育成していく必要があります。間伐の時期が遅れると樹高の割に幹の細い木となり、雪の重みや強風に耐えることができません。気象被害に強い健全な山づくりに向けて、継続的で計画的な間伐の実施に心がけましょう。

平成 26 年 8 月 4 日

平成 26 年 2 月 14 日～16 日の雪害地確認作業及び今後の施業について

根羽村

- 1 雪害地の被害調査については県、村、森林組合が連携して今年度中に実施し、被害率に応じて施業指針を定める。
- 2 施業指針に基づいた雪害地の施業は平成 26 年度から実施する見込みである。
- 3 調査内容については森林所有者毎に、面積、樹種、面積被害率、実被害面積、本数被害率等とする。
- 4 本数被害率については小 (0%～30%)・中 (30%～50%)・大 (50%～)の区分とする。
- 5 今後の施業指針及び調査内容について、現時点では下記のとおり検討している。

施業指針 (案)

本数被害率(%)	A 道路からの距離 100m 未満 (生産林)	B 道路からの距離 100m 以上 (環境林)
小 (0～30)	① 切捨間伐・搬出併用、林内整理	① 切捨間伐・林内整理
中 (30～50)	② 一部搬出・林内整理・一部植栽	② 林内整理・一部植栽
大 (50～)	③ 皆伐搬出・植栽 (危険度により林内整理のみ又は放置)	③ 林内整理・一部植栽・放置

調査内容 (案)

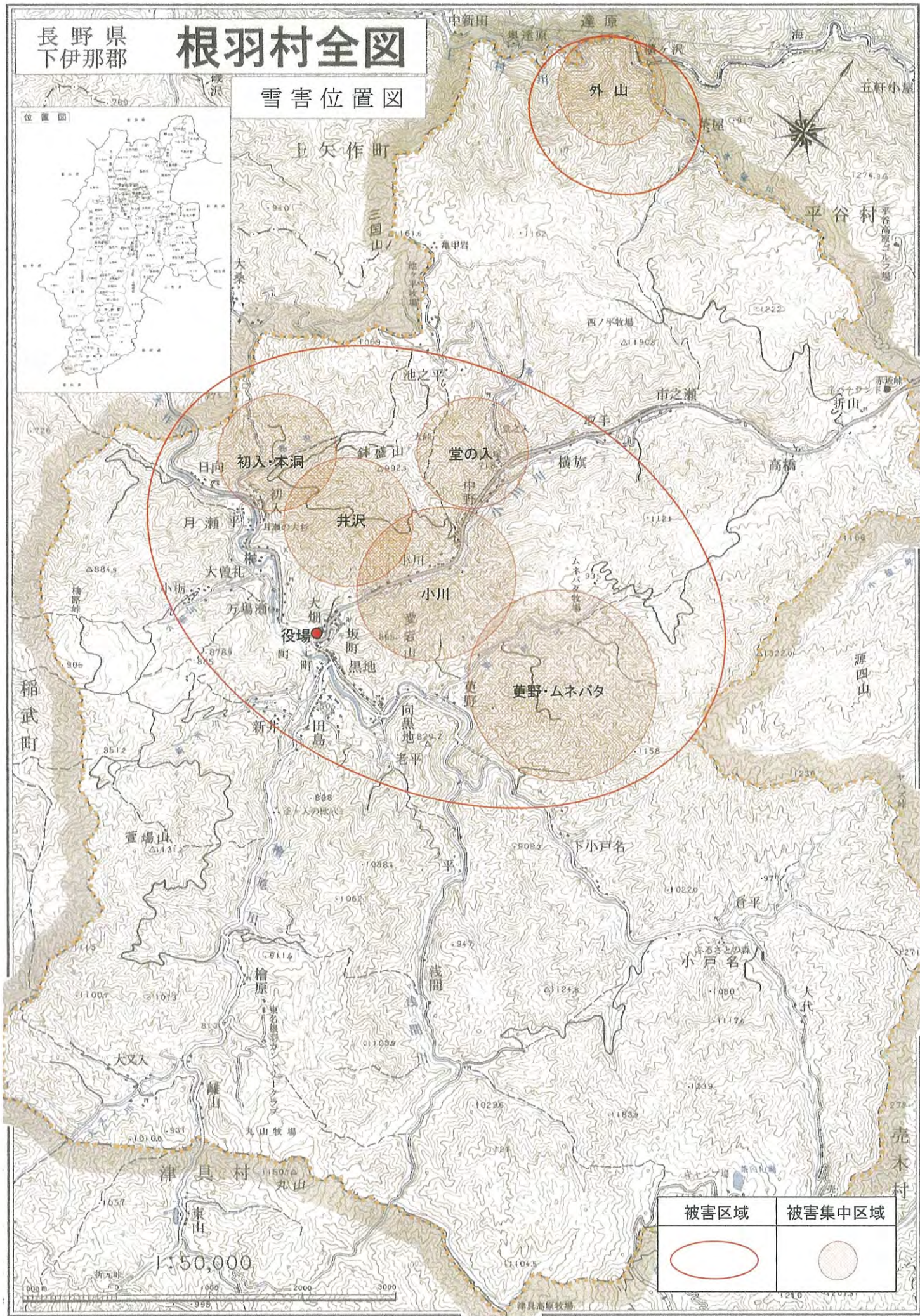
被害地 NO	所在地 (林小班施業区画)	森林所有者名	樹種	林齢	面積	面積被害率 (%)	実被害面積	本数被害率 (%)	ライフライン 緊急度	タイプ	備考

長野県
下伊那郡

根羽村全図

雪害位置図

位置図

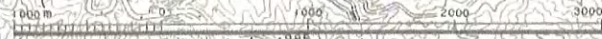


被害区域

被害集中区域



1:50,000



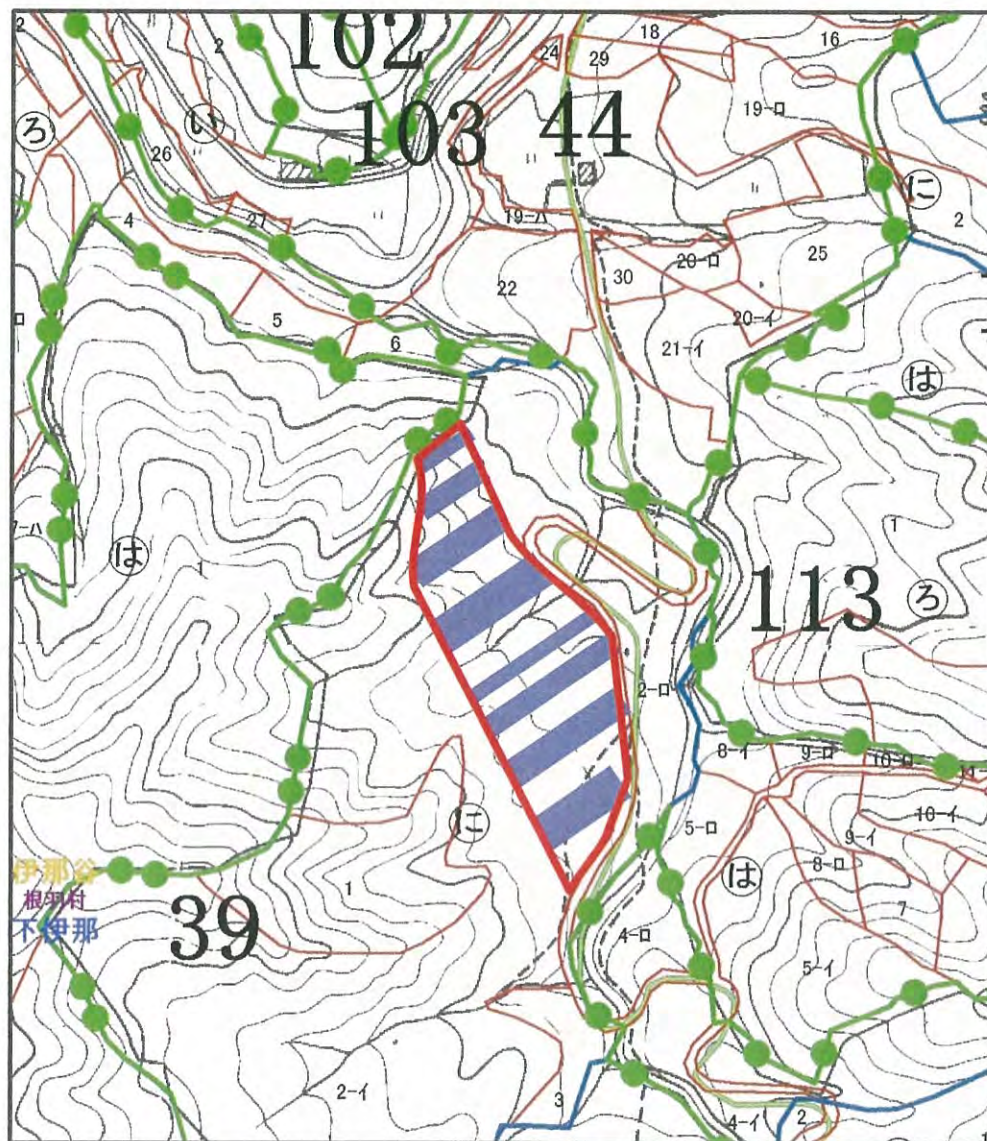


平成 26 年 2 月

根羽村 堂乃入
森林被害状況
雪害



根羽村低コスト造林地試験地位置図



縮尺 1:5,000

■ : 伐採帯



- ・ 帯状に 10m, 15m, 20m, 25m の幅で伐採
- ・ 伐出作業システムは、タワーヤードによる信州式搬出法またはランニングスカイライン
- ・ 伐採した帯にはコンテナ苗、普通苗を植栽（2：1の本数割合）
- ・ コンテナ苗の運搬は、伐出直後に架線により行い、同時に植栽を行う

簡単な低コスト造林地試験地の説明

1 試験地の意味

根羽村では、別紙のとおり建築用の木材として利用できる10齢級（46年生）以上の森林が多くなってきました。そして、こうした森林資源をすべて伐採してしまうことを皆伐^{かいぼつ}と言いますが、この皆伐^{かいぼつ}を行う森林所有者の方が最近、増えてきました。ところが、その多くの方が皆伐^{かいぼつ}後に再び造林をしていません。それは、造林の費用が高かったり、植えても獣の被害を受けて森林にできないと考えているからです。これでは、森林資源を循環させる林業、つまり次世代に向けた山づくりが継続できずに地域資源が失われてしまいます。このことは、林業によって村民の雇用の場を確保し、林業を志すIターン者を受け入れて若者の定住促進を図ろうとしている根羽村にとっては大変大きな問題です。

そこで、皆伐^{かいぼつ}をせずに帯状伐採を行い、同時にすぐに造林と獣害対策を行うような方法を試験的に行ったものです。帯状伐採の幅は10m、15m、20m、25mと4パターンとし、どの程度の幅が木材の伐採・搬出の作業をしやすいのか、試験をしました。また、この方法であると造林補助金という国の助成金を使用して、作業経費の個人負担がほとんど必要ありません。

造林は、普通苗とポット苗と言って土をつけたまま簡単に苗木を植え付けられる2つの方法を実施しました。ポット苗は苗木代が高いのですが、その代わり植え付け本数を少なくしました。獣害対策は忌避剤と言って直接苗木に薬を塗る方法、一本の苗木を防護ネットで囲う方法、造林地全体を防護柵を張る方法の3つの方法を実施して、どの方法が最も効果的か試験をしています。

2 試験地でわかったこと

まず、作業効率が通常行っている2残1伐の間伐方法（2列残して、1列伐る木の間引き）の作業効率と比較すると3~5倍程度、作業効率が向上することがわかりました。また、通常の木材の搬出量も1.5~2倍程度となり、木材収入も増えることがわかりました。この結果から、通常行っている間伐に比較して経費が安く、お金がたくさん入ってくることから、森林所有者にとっては非常に有利なことがわかりました。さらに、補助金を利用することで、獣害対策を行いながら造林ができるので、次世代に向けた山づくりが可能となり、林業の継続が可能となります。同時に、山づくりのための継続した仕事（下刈、間伐等）が生まれますので、森林組合の仕事場の確保にも結びつきます。

ポット苗については、通常普通苗の植え付け効率と比較する

約 1.5 倍効率的で植え付けることができ、かつ一年を通して植え付けが可能であることがわかりました。植え付けをした苗木を守るために、下刈を翌年実施する必要がありますが、搬出したスギの枝葉が地表面を覆っているため、雑草の繁茂を抑えることができるかこれも試験中です。

獣害対策については、試験結果から一本の苗木を防護ネットで囲う方法が最も効果的であると考えています。

3 根羽村の森林づくりに向けて

根羽村ではこうした充実した森林資源を、帯状間伐により伐採して、すぐに獣害対策と共に造林を行いながら次世代に向けた山づくりを展開させていきたいと考えています。造林補助事業により、ほとんど所有者負担なく林業を継続してもらいたいという考えから、試験地はその取り組みを村民に目で見え理解していただくために設定しています。

带状伐採とコンテナ苗による 伐採・造林一貫作業の取り組み

～森林資源の活用と次世代に向けた森林づくりに向けて～



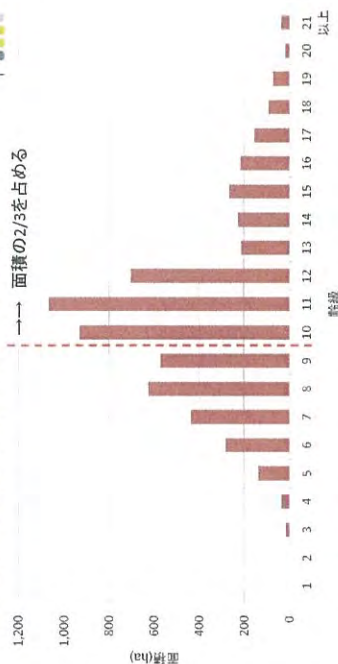
根羽村森林組合
今村 豊

林業界としての課題

- 人工林の資源量が増加、利用可能な径級になってきた
 - 県産材の安定供給のためには、計画的な伐採と更新が必要
 - 再造林にかかる費用(地替え・植栽・下刈り等)は森林所有者にとって大きな負担
- ➔
- 環境への負荷を抑えた伐採方法を検討
 - 带状伐採
 - 木材生産林を低コストに造成する技術の開発
 - 伐採・造林一貫作業
 - 植付時期の自由度の高い苗木の活用
 - コンテナ苗の利用

2

根羽村の森林の現況と課題



- 人工林の資源量が増加、利用可能な径級になってきた
- 県産材の安定供給のためには、計画的な伐採と更新が必要
- 再造林にかかる費用(地替え・植栽・下刈り等)は森林所有者にとって大きな負担

3

根羽村が今回の带状伐採とコンテナ苗による 伐採・造林一貫作業の取り組みに至った背景

- ① 林齢50年生以上、500本/ha前後の間伐が終了した林分には今後どのような施策が適切か
- ② 造林事業の適用とならない皆伐を実施すべきか
- ③ 資源の循環的活用という観点から伐採後の再造林をどのように行うべきか
- ④ 再造林しないで放置した場合、森林計画で定める適正な広葉樹の生育密度を確保できるか
- ⑤ どのような獣害対策が理想か
- ⑥ 伐採・造林一貫作業によって低コスト造林は可能か

4

伐採・造林一貫作業で実証し村民に示したかった事項

- ① どのような作業か → 帯状伐採
- ② 皆伐を実施すべきか → 実施しない
- ③ 再造林は行うべきか → コンテナ苗を植える
- ④ 広葉樹の適正密度 → 放置では確保できない
- ⑤ 理想的な獣害対策 → 単木防護柵が理想
- ⑥ 伐採・造林一貫作業 → 低コスト化は可能

5

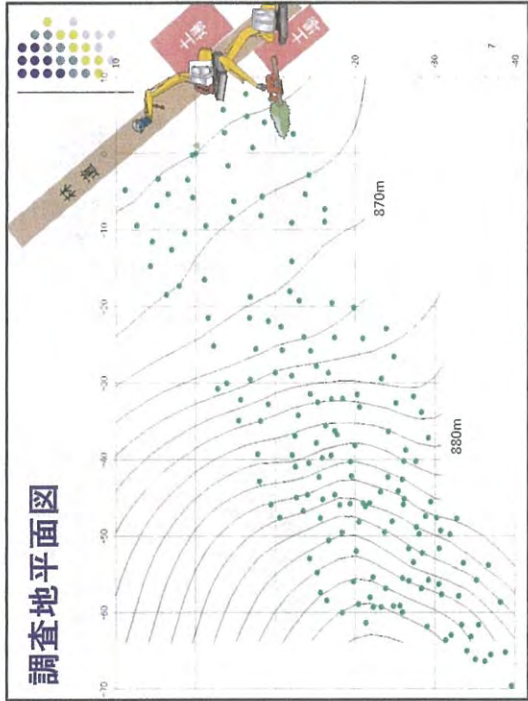
調査方法

- 調査地
 - 根羽村 岩名沢村有林
 - 54年生スギ人工林
- 施業
 - 帯状伐採 (帯幅: 10m, 15m, 20m, 25m)
 - 伐出作業と植栽作業を連続的に実施
- 工程調査
 - ビデオ撮影により、伐倒、集材、造材、植栽の各工程の作業時間を解析 (25m帯)



6

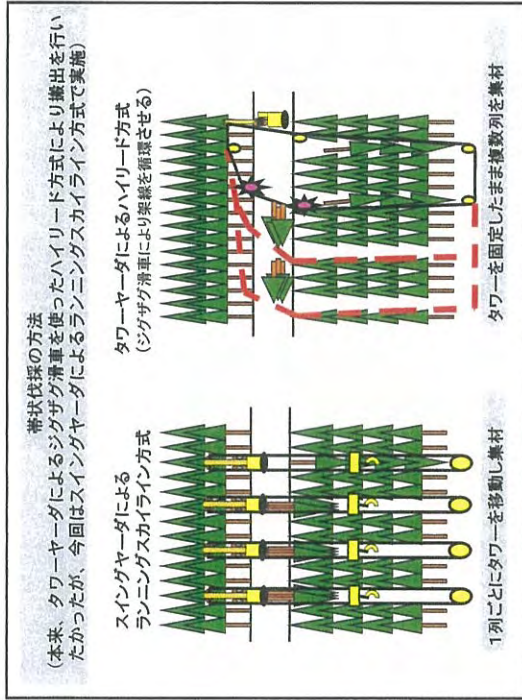
調査地平面図



伐出作業工程調査

伐倒	集材, 苗木運搬	木寄せ, 造材
チェーンソー	スイングヤーダ	プロセッサ
—	イワジCT-500/TW-222	コマツPC120I/フジGP-35A



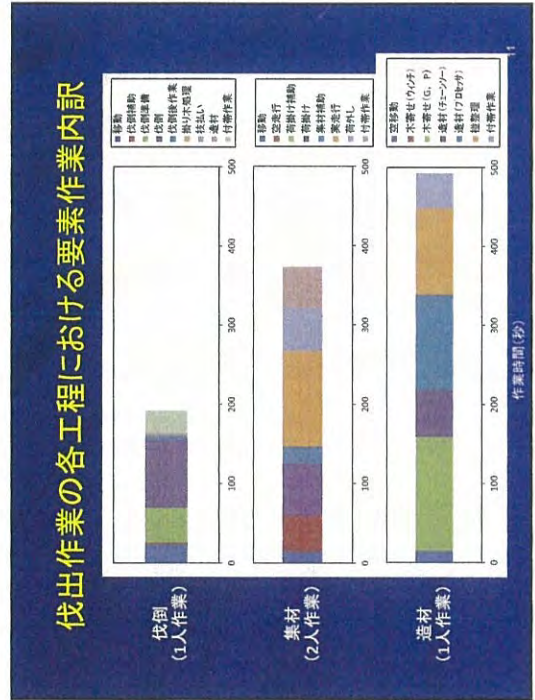


伐出作業調査結果

各作業工程の生産性

作業工程	セット人員 (人)	生産性 (m ³ /時)	生産材積 (m ³)	労働生産性 (m ³ /人日)
伐倒	1	12.0	99.1	72.1
集材	2	6.4	97.9	19.3
造材	1	4.7	68.1	28.0
				9.9

10



带状伐採の実施状況



13

現行 2区1伐採間伐(33%間伐)と新提案 带状伐採(50%主伐)との比較表
 スギ54年生 600本/ha 450m/ha タワーヤーダ・プロセッサによるハイリート方式

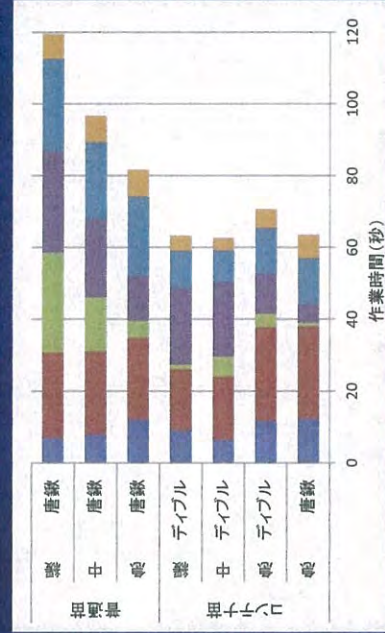
区分	項目	現行 2区1伐採間伐 (33%間伐)	新提案 带状伐採 (50%主伐)	備考
生産性	圃出量(利用量)	84	126	材種×0.8×0.7
	生産性	3.0	12.0	生産性に4倍の倍差有
	人工	28	10.5	16,500 円/人
伐採経費	人件費	482,000	173,250	1,800 円/m ²
	機械使用料	151,200	226,800	1,500 円/m ²
	運賃	120,000	189,000	2,800 円/m ²
	諸経費	235,200	352,800	
	計	974,400	941,850	
木材収入	圃出経費/m ³	11,600	7,475	計/圃出量(利用量)
	木材収入	672,000	1,008,000	8,000 円/m ³
	補助金	570,000	500,000	列 6,750円/m ³ 第 3,900円/m ³
	収入計	1,242,000	1,508,000	
	木材収入/m ²	14,786	11,988	木材収入/圃出量(利用量)
還元金	還元金	287,600	568,150	木材収入-伐採経費
	還元金/m ²	3,186	4,483	
優位性		小	大	14

植栽工程調査

- 苗木の種類
 - マルチキヤビティコンテナ苗
 - ティブル, 唐鋸
 - 普通苗
 - 唐鋸
- 傾斜区分
 - 緩傾斜(勾配10°未満)
 - 中傾斜(10°以上30°未満)
 - 急傾斜(30°以上)

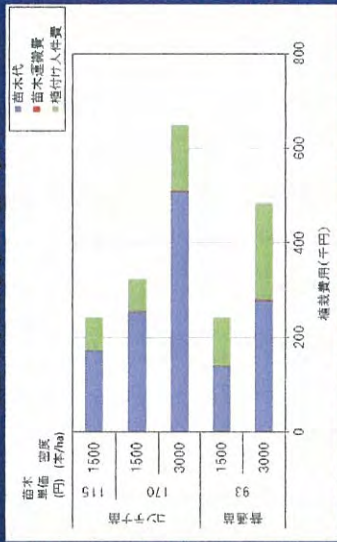
15

植栽作業工程調査結果



16

植栽経費の試算



- 苗木運搬のコストは、植栽経費の中ではわずかしかない
- 同じ植栽密度では、苗木代の高いコンテナ苗は不利
- コンテナ苗の価格は普通苗の2割程度に抑える必要あり
- 現状の価格では、コンテナ苗は低密度植栽で経費を抑えることが必要

17

架線による苗木運搬

運搬方式	苗木代 (円/100本)	架線 (円/100本)	植付 (円/100本)	合計 (円/100本)
人力	210	139	96	96
架線	280	96	66	66



コンテナ苗

普通苗

- 架線による運搬コストは、人力の約2/3に低減
- コストより労働強度の軽減に効果あり

18

コンテナ苗の植栽状況



19

普通苗の植栽



20

根羽村試験地における普通苗とコンテナ苗の試算比較表

区分	項目	現行 クワ 普通ヒノキ苗	新機種、子ブカル コンテナヒノキ苗	備考
効率性	植栽本数	3,000 本/ha	1,500 本/ha	
	生産性	180 本/人・日	340 本/人・日	効率性に約2倍の差あり
	人工	16.7 人	4.4 人	
植栽費	人件費	275,000 円	72,794 円	16,500 円/人
	苗代	279,000 円	255,000 円	93 円
	現場運搬費	2,880 円	990 円	0.96 円/人
	雑費	33,333 円	8,824 円	2,000 円/人
	計	590,213 円	337,608 円	
優位性	植栽費/本	197 円	225 円	植栽費/植栽本数
		小	大	

21

根羽村の今後の伐採・造林一貫作業の方向性

- ① 帯状伐採を進める
- ・ 帯状伐採の優位性は認められる
 - ・ 技能職員が習熟している現行のタワー・ヤーダ・プロセッサを使用したハイリフト方式で帯状伐採が効率よく実施できる
 - ・ 短時間に多くの搬出量が期待できる
 - ・ 生産性向上、低コスト化が図れる
 - ・ 更新を伴う帯状伐採で林業の放棄を阻止できる
 - ・ 苗木、獣害対策資材の運搬に架線運搬を使用し作業の軽減、効率化を図る
 - ・ 造林事業を適用し木材収入を有利にできる
 - ・ 主伐を2回とし林業収入の機会を増やす
 - ・ 50年生以上の林分は積極的に活用する
 - ・ 林齢の平準化を図り木材安定供給、生物多様性に配慮する

23

まとめと今後の課題

- 帯状伐採では伐倒工程の労働生産性が向上
 - 集材及び造材工程の改善が課題
- コンテナ苗は植栽作業時間に優位性あり
 - 技術革新と量産化による苗木価格の低減が必要
- 架線による苗木運搬で労働強度が軽減
 - 工夫次第で植栽効率の向上も
- コンテナ苗の活着率、初期成長の評価を
 - 樹種、育苗・植栽条件ごとに詳細な検証が必要

22

- ② コンテナ苗による植栽を帯状伐採と同時に進める
- ・ コンテナ苗植栽の優位性は認められる
 - ・ 通常植栽の約2倍の作業効率で作業も軽減される
 - ・ 植栽時期を選ばないため、林産班と造林班のコンビネーションが可能となり労働配分上、作業を調整しやすい
 - ・ 植栽機を用いることで、地ごしらえを省略できる
 - ・ 苗木代が高価な分、植栽密度を減らしてコストの調整ができる
 - ・ 植栽密度を減らしたことで初回間伐が省略できる
 - ・ 将来的には遊休農地を活用して、精英樹の実生からコンテナ苗生産も検討する
 - ・ 活着率や初期成長については、今後検証を進める

24

- ③コンテナ苗による植栽と同時に獣害対策を行う
- ・ 植栽直前にシカ駆除申請を猟友会に行い、帯状伐採により林地の開けた状態でシカ捕獲(猟銃)を実施し、地域周辺の個体数を減らしてから植栽を行うことが望ましい
 - ・ 植栽と同時に直ちに獣害対策を行わないと食害される
 - ・ 実際に獣害対策を経験した結果では、単木防護柵が理想である。単価は高いが、施工後10年程度は効果を発揮し、育林のトータルコスト的には安価となる。単木で保護しているため、一度に大きな被害は受けにくい。
 - ・ 植栽地防護柵は猟友会のくくりわな設置と併用し、設置や見回りの際に併せて、防護柵のメンテナンスを行うのが理想的である。
 - ・ カモシカは捕獲頭数制限があり、法的な対応が必要か

25

根羽村低コスト造林事業の考察結果による根羽村の今後の造林の方向性

根羽村森林組合

今 村 豊

1 根羽村低コスト造林事業の取り組みの背景

①林齢 50 年生以上、500 本/ha 前後の最終形となった林分の取り扱い

近年根羽村では、林齢 50 年生以上、立木の成立本数が ha 当たり 500 本前後の間伐が終了して最終形となった林分が増加傾向にあります。そこで、こうした林分に対して、今後どのような施業を行っていくべきか、この課題を検討するため、今回の低コスト造林事業を村有林で実施し、次の点を検討することにしました。

ア 間伐が終了した林分には今後どのような施業が適切か

イ 造林事業の適用とならない皆伐を実施すべきか

ウ 資源の循環的活用という観点から伐採後の再造林をどのように行うべきか

エ 再造林しないで放置した場合、森林計画で定める適正な広葉樹の生育密度を確保できるか

オ どのような獣害対策が理想か

カ 伐採・造林一貫作業によって低コスト造林は可能か

②再造林を実施すべきか

根羽村においては、近年皆伐を実施した林分が数か所発生していますが、すべての林分において、再造林は実施されませんでした。この最も大きな要因は、シカ食害による獣害被害の発生が懸念されるためです。こうしたことから、皆伐によりせっかく得た木材販売による収入を使ってまで、再造林をしても無駄である、という考え方が発生しています。さらに、もう伐採により収入を得たのだから、今後何十年もかかる林業に再投資する必要はない、という考え方もあります。いずれにしても、このような「皆伐した後は何もしなくても良い、広葉樹の森になれば良い、」という考え方は、今後の次世代に向けた山づくりという観点から考えると短絡的であり、今後どのようにすれば、基幹産業である根羽村の林業を継続していけるのか、検討する必要性が生じました。基幹産業が林業と位置づけしている根羽村にとって、やはり生産林として機能させるべき林分は再造林を行って、森林経営を継続していくことが妥当と考えられます。また、皆伐後放置して広葉樹林とする場合、森林計画によって伐採終了後 2 年目に有用広葉樹がヘクタール当たり 5,000 本以上存在することが要件とされていますが、現時点においてこの条件を満たすことは困難と推測されます。従って、いずれに

しても根羽村にとって、森林経営を持続的に継続し、次世代を担う森づくりのためには再造林が必要であり、今回の事業の実施により、できる限り合理的で低コストな造林と森づくりを考えていくこととなりました。

③矢作川水源の村「根羽村」として下流域に対する責任

平成5年に発生した恵南豪雨では、約35,000 m³の流木が矢作川ダムに流れつきました。その約8割が整備の遅れたスギ・ヒノキ等の人工林の立木でした。ダム上流域の人工林の整備が遅れたため下層植生が繁茂せず、森林土壌が育成されなかったために雨水が土壌に浸透せず、表面水が発生し土砂崩落が発生したと考えられます。矢作川の最上流に位置する根羽村においても人工林の適切な管理を行い、下流域への水資源の安定供給や、土砂崩落等の山地災害を未然に防ぐ等のライフラインの確保が求められています。こうした観点から、伐採後の次世代に向けた森林造成とその適切な管理は、当森林組合や根羽村が下流域に対して果たすべき責任と言えます。このため、森林所有者の皆さんも、当森林組合と共に次世代に向けた山づくりにご協力いただければと思います。

2 事業の内容とその考察

①帯状伐採による主伐（造林事業における更新伐）

スギ50年生以上、500本/ha程度の最終形となった林分において、皆伐を実施して、その後造林を行わない現状を改善するため、皆伐の代わりに10m・15m・20m・25mの4パターンの帯状伐採を行い、その後すぐに獣害対策に配慮した造林を行うことが、次世代の森づくりに結びつくひとつの方法だと認識し、当事業を実施しました。この結果得られた当事業の考察は次のとおりです。

- ア 技能職員が従来より実施している2残1伐の間伐方法と同じタワーヤードによるハイリード方式による集材が効率的に適用できること
- イ 従来より実施している2残1伐の間伐方法より生産効率が高く、短期間に多くの搬出量が期待できること
- ウ 搬出量が高まり、生産効率の向上により搬出コストが低減されることから、木材収入が従来の間伐より多くなり、森林所有者に多くの還元金を払えること
- エ 搬出効率が高まることから、従来の生産効率上のボトルネックであったプロセッサの稼働時間が増え、造材の生産効率が高まること
- オ 更新を伴う帯状伐採は、皆伐では適用されない造林事業の対象となり、伐採・造林・獣害対策を同時に行う伐採・造林一貫作業は、次世代の森づくりの方法として合理的であり、かつ森林所有者に理解されやすいと考えられること
- カ 搬出後のハイリード架線を利用して、苗木運搬と獣害防護柵等の資材を山の現地まで効率的に運搬できるため、造林コストを低減できること

- キ 木材販売収入を利用して、植栽や獣害対策の造林事業補助金の補助残負担が可能となること
- ク 帯状伐採に至るまで生産間伐による収入が約 2 回、帯状伐採による収入も 2 回見込める等、林業収入による所得の機会向上が見込まれること
- ケ 搬出条件の良いところでは、請負による搬出作業において短期間で多くの収入を得られる可能性があること
- コ 短期間に多くの搬出量が見込めることから、年間の搬出量が増加し、森林組合の経営上有利となること
- サ 帯状伐採の伐採幅の違いによる生産効率の差は、ほとんど認められなかった
- シ 一般的には木材の価格が低いという森林所有者の認識があり、50 年生以上の林分となっても伐採せずに長期に亘って財産保持的に森林を所有する方も多い。しかし、特にスギの高齢級林分の一部には、経験上、水割れや材のもめ等、必ずしも長期に育成することによって良質な木材の形質が得られるとは限らず、ある程度の採材経級が得られたら伐採することが望ましいと考えられる
- ス こうした帯状伐採による更新伐が増えてくると、今後齢級配分のバランスが良くなっていくと考えられること。このことは、根羽村全体として持続的な森林経営が実行しやすくなることに結びつく
- セ 伐採後の残存林分には非常に多くの陽光が当たることから、さらに肥大成長が期待される
- ソ 総括すれば森林所有者にとっては、木材収入が多くなった上に、獣害対策と造林が一体的に行われて次世代に向けた森づくりが可能となり、伐採請負は短期間で多くの収入が見込め、組合経営においては搬出量の増大が見込めることから、利益が増えることになり、当作業のもたらす恩恵は大きいと考えられる

②コンテナ苗と普通苗による植栽

帯状伐採後にコンテナ苗と普通苗を 1,500 本/ha で植栽した。通常の 3,000 本/ha で植栽しなかったのは、コンテナ苗の苗木代が普通苗の 2 倍であること、また、初回間伐を省力化するため、植栽密度を従来の 1/2 に低くしたものである。この結果、得られた当事業の考察は次のとおりである。

- ア コンテナ苗による植栽は通常植栽の約 1.5 倍の作業効率が認められ、造林コストの低減化に結びつくこと
- イ コンテナ苗の特徴として年間の植栽時期を選ばず、通年植栽が可能となる。このため、森林組合造林班の労働力配分上、調整がしやすく効率的な造林作業が可能であること
- ウ コンテナ苗植栽の特徴として、植栽機を用いることにより地ごしらえを実施しなくても植栽が可能なこと

- エ 1ヘクタールあたり1,500本の植栽を実施した時の植栽間隔は2.6mであり、このためうっ閉のタイミング遅れ、初回間伐の時期も遅れることから間伐回数が減り、育林コストの低減に結びつくと考えられること
- オ 全幹集材による帯状伐採の実施により、折れたスギ等の枝が林地全面を覆うことから、初回下刈の省力化が期待されること
- カ ハイリード方式及びランニングスカイライン方式の架線撤収前に、植栽木や獣害防護柵を搬送することにより、それらの運搬に伴う労働が軽減され、低コスト造林に結びつくこと
- キ コンテナ苗の植栽が効率的であり、また植栽時期を選ばないこと、さらに、地ごしらえが不要であることから、今後コンテナ苗による植栽が主流になっていくことが推測される。そこで、根羽村の遊休農地約50haを活用したパイプハウス設置によるコンテナ苗生産事業化の可能性がある。
- ク 今回の事業において、コンテナ苗の植栽が始めてであることから、すべての帯状伐採地において、コンテナ苗と普通苗を交互に4区画から6区画に分けて植栽し、今後の活着と生長を比較することとした。一般的にはコンテナ苗の生長の方が早いとされているが検証したい。

③植栽と同時に行う獣害対策

今回の帯状伐採跡地の植栽に伴い、植栽木に対する獣害対策を行った。伐開幅10m・15m個所については忌避剤コニファーの塗布、20m個所についてはサブリガードによる単木防護柵の設置、25m個所については植栽地周囲の防護柵を設置した。この結果、得られた当事業の考察は次のとおりである。

- ア 根羽村においてはシカ等による農作物を中心とした獣害被害が平地部で目立つことから、猟友会が中心となってシカ等の捕獲に努めている。植栽木はシカにとっては餌であることから、植栽直前にシカ駆除申請を猟友会に行い、帯状伐採により林地の開けた状態でシカ捕獲（猟銃）を実施し、地域の個体数を減らしてから植栽を行うことが望ましいこと
- イ 植栽後、獣害対策を実施するまでに数日間の期間があったことから、特にA地の10m・15m区画上部傾斜地においてシカの食害被害が見られた。このことから、植栽と同時に獣害対策を実施しなければならないことを痛感した
- ウ 今回の事業において、くくりわな、コニファー、単木防護柵、植栽地周囲防護柵4つの獣害対策を試みた。実際に食害の被害を受けた上で検討すると、一番確実な方法は単木防護柵と考えられる。単木防護柵は、他の獣害対策と比較すると単価が高いが、施行後10年程度は効果が期待できることから、育林のトータルコスト的には安価であり、また単木で防護していることから一度に大きな被害を受けるとは考えにくい。植栽地周囲防護柵は安価であるが、

猟友会等と連携したメンテナンスが欠かせないことから、人件費等のトータルコストは高くなると考えられる。コニファーは、最も簡易的であるが実効期間が約2カ月程度と短いため、本格的な防護柵を設置するまでの一次的な防御として用いるのが妥当と考えられる。くくりわなは、こうした基本的な防護対策を実施した上で、併用して食害が予想される植栽地周辺の獣道にしかけるのが効果的と考えられる

- エ くくりわなの設置により植栽地周辺の道脇でシカ一頭が捕獲されたが、当初想定していた帯状伐採個所を利用しての引き出しまでには至らなかった。しかしながら、今後ウインチ等による引き出しの効率化は図れると推測する
- オ くくりわなの設置について冬期間は凍結するため、くくりわなの機能が発揮しにくく、捕獲効果が薄れる。このような点から、捕獲作業は補完的な位置づけと認識し、ヒノキよりも食害を受けにくいスギの選択、単木防護柵設置等、基本的な獣害対策をまず重視したい
- カ 試験地付近にはシカの他カモシカも生息しており、これによる食害も懸念される場所であるが、カモシカは国の天然記念鳥獣に指定されており、許可されている捕獲頭数が根羽村においては15頭と極めて少ない。従って、くくりわなによる獣害対策には限界があり、基本的な獣害対策をまず重視したい

3 今後の根羽村における次世代に向けた森林づくり

上記の考察を踏まえ、当初の検討課題の現時点での結論は次のとおりである。

ア 間伐が終了した林分には今後どのような施業が適切か

50年生以上で500本/ha程度の最終形となった林分については、帯状伐採を行い、コンテナ苗による植栽を獣害対策と同時に実施することが望ましい。この場合、造林事業を適用し、補助残の所有者負担については、木材収入から充当したい。

イ 造林事業の適用とならない皆伐を実施すべきか

問題は皆伐後の植栽の有無にあると考えられる。伐採終了2年後にヘクタール当たり5,000本の有用広葉樹を生育させることが可能であるならば、皆伐を実施し、再造林を行わなくても良いと考える。これが不可能であるならば、皆伐は実施せず帯状伐採による植栽が望ましいと考える。ただし、皆伐は造林事業の適用外となり、その多くが再造林を実施することなく、その時点で林業経営が終了して木材収入の機会が全く失われてしまうことを考慮すれば、造林事業が適用でき植栽を伴う帯状伐採を選択した方が、継続的な林業経営が可能となる。持続可能な林業経営という視点で、次世代の森づくりを考えていく必要がある

ウ 資源の循環的活用という観点から伐採後の森づくりをどのように行うべきか

帯状伐採であるならば、造林事業上の更新伐を適用し再造林を行うのが現時点では、妥当と考える。択伐によるスギ等の天然更新も検討されるが、今後の実証試験

による成林の可能性を検討する必要がある。また、森林資源を活用して、林業経営を継続して行う生産林と、森林が存在することによって森林の公益的機能の発揮を重視する環境林に区分し、生産林については基本的に再造林を行い、環境林については、適切な林分密度を維持する計画的な森林整備が必要である。

エ 再造林しないで放置した場合、森林計画で定める適正な広葉樹の生育密度を確保できるか

現時点ではスギ・ヒノキ等の人工林の伐採後の放置により、伐採終了2年後にヘクタール当たり5,000本の有用広葉樹を生育させる具体的な方法はない。従って、再造林を行うか、適切な林分密度を維持するための間伐を行い、針広混交林等の環境林として維持することが望ましい。

オ どのような獣害対策が理想か

大面積の被害を受けにくい単木防護柵による獣害対策が望ましい。ただし、ヘクタール当たりの事業費が高いため、木材収入の伴う林産事業の実施と併せて、造林事業の利用により対応したい。育林のトータルコスト的に考えれば、単木防護柵が約10年程度効果を発揮している実例があるため、安価になると考えられる

カ 伐採・造林一貫作業によって低コスト造林は可能か

可能である。まだ、実証が終了していないが帯状伐採による木材収入の増、木材生産コストの低減、植栽コストの低減、地ごしらえのコストの低減、初回間伐の低減、造林事業を活用した獣害対策のトータルコストの低減、2回目の帯状間伐実施に伴う木材収入への期待等、伐採・造林一貫作業によって低コスト造林は可能と考えられる。また、将来的には、コンテナ苗木の高価格な現状や供給体制を踏まえ、根羽村の気候に適したコンテナ苗木生産の必要性、大苗を育てて植栽する方法等、根羽村でのコンテナ苗生産の必然性や可能性もあり、苗木生産から始まるトータル林業の構築を目指したい。なお、当森林組合はこの2月に林業用種苗の生産や配布が可能となる生産者のための林業種苗講習会の受講を終了しており、今後の苗木生産に向けた体制づくりをスタートさせている

4 考察を踏まえた今後の課題

以上の考察を踏まえ、現時点での課題をまとめると次のとおりである。

①帯状伐採による主伐（造林事業における更新伐）

ア 帯状伐採を行うにはある程度まとまった林分が必要となる。従って、一個人の所有面積が大きい林分には適応しやすいが、林齢の異なる複数の森林所有者をまとめる団地化による施業においては、異なる所有者の共通認識化や搬出材の仕分け等、準備と施業時の煩雑性が予想される

イ 帯状伐採適切地の現場探しや帯状伐採のレイアウト、帯状伐採面積確定の測量等、従来とは異なった森林施業プランの作成を行うこととなり、いくつかの基本的な

手順の整備を行う必要がある

- ウ 搬出作業の効率化が図られることから山土場がすぐに素材で満杯状況となる。このため、作業スペースや集積スペースの確保、運搬等の的確な段取り必要とされる
- エ 帯状伐採であるため、遠目で見ると「とらがり」のように縦縞が連続する林分となる。景観上、こうした状況が相応しくない場所も想定され、施業実施にあたり景観面での配慮が必要となる

②コンテナ苗による植栽

- ア コンテナ苗は長野県山林種苗協同組合で入手可能であるが、普通苗と比較し約2倍であるため、植栽密度を低減し造林のトータルコストの低減に努めなければならない
- イ コンテナ苗の活着や生長が良いか、今後の追跡調査の必要性がある。初期成長が早ければ、下刈回数の低減による低コスト化が図れる可能性がある
- ウ 今回の試験地においてはヒノキ植栽としたが、本来はスギ植栽を予定していたところであり、コンテナ苗の供給事情により本来の希望樹種が植栽できないのは問題である
- エ 基本的には根羽村の気候、自然条件に適した形質の良い精英樹の遺伝子を持った地元の木から採取した種により苗木を育成し、それを植栽することが望ましい。今後の帯状伐採の実施面積により、苗木の必要量が左右されることになるが、将来的には、こうした視点から根羽スギの良い形質（直材、芯材の赤み、材の光沢等）の遺伝子を意図的に継続していく必要がある
- オ 今回の試験地では大苗植栽は実施していないが、今後完全な獣害対策を実施した苗木生産地において生育した5年生程度の大苗を、ハイリード方式により運搬し植栽することによる低コスト造林に向けた検討も必要と考える。期待されるのは、スギ等の主軸無被害による獣害対策の未実施化、下刈回数の低減等である。

③植栽と同時に行う獣害対策

- ア 現時点における植栽木に対する最も有効な獣害対策は、単木防護柵と考える。しかし、実施経費が高いのが難点であり、造林事業における単価協議が必要となる。
- イ 森林所有者にとって再造林を行うかの判断は、植栽しても成林するのか、という点に尽きると考えられる。植栽してもシカ被害に会ってしまい、無意味であると考え森林所有者は少なくないと思われる。その意味で、獣害対策は次世代に向けた森づくりを進めていく上で、非常に大きなウエイトを持っている。考え方としては、様々な工夫により達成できた低コスト造林化と適切な獣害対策の組み合わせにより次世代に向けた森づくりを進める、ということを理解してもらう必要

性がある

- ウ 獣害被害は当初、重機や人の気配がある内は発生しないと考えていたが、実際はそれらに関係なく、獣害対策を実施する前の植栽直後から発生した。従って、植栽と同時に獣害対策を実施しないと、植栽木は単なる餌になってしまうことを痛感した。このため、獣害対策が植栽と同時に実施できない場合、植栽は実施できず、ひとつの制約要件と考えられる
- エ 次世代に向けた森づくりのためには獣害対策がポイントであり、今後植栽地周辺のシカ出没状況の把握等、植栽木を獣害から守るため猟友会、シルバー人材、集落等と連携し、監視カメラやセンサーの設置等、システム的な獣害対策の構築が必要と考えられる。今後、信大農学部との連携協定等で検証したい。

低コスト造林試験地の搬出・造材作業について

根羽村森林組合

造林技能職員・フォレストリーダー

永井 大幸

今回の低コスト造林事業の実施にあたり、直接データ取りを行わなかった帯状伐採地 A・B地区の 10m・15m・20m 計 6 区画の搬出・造材作業については、永井氏他 1 名が担当した。当初の搬出・造材計画においてはタワーヤード TYU-3 とプロセッサ PC120 を使用したハイリード方式による予定であったが、他事業の関係からこれらが手配できず、イワフジ CT500 による ランニングスカイライン方式により搬出・造材を行った。

A・B地区の 10m・15m・20m 計 6 区画については、職員によるデータ取りは行わなかったが、各 6 区画毎の搬出量と人工を記録し、それぞれの生産性を把握して作業後の所感をまとめた。その結果は下記のとおりである。

生産性においては、従来の 2 残 1 伐による間伐時の 3~4 m³/人・日から 12.2 m³/人・日と約 3 倍の数値となり、帯状伐採による小面積皆伐の生産効率の高さが目立つ結果となった。また、今回実施したランニングスカイライン方式よりさらに搬出・造材効率の高いハイリード方式であれば、さらに生産性は高まったのではないかと推測される。

作業状況

- ・帯状伐採伐開幅 A・B地区の 10m・15m・20m 計 6 区画を 2 人で搬出・造材
- ・使用機械 イワフジ CT500 ランニングスカイライン方式
- ・総人工数 23 人工
- ・搬出材積 280 m³
- ・平均 12.2 m³/人・日

1 メリット

◎伐倒

- ・作業スピードが速い

◎集材

- ・スイングヤードでの架設が速い
- ・集材距離が短いので、集材スピードが速い
- ・1 架線での集材材積が多い

◎造材

- ・周囲の地形や立木等の条件が良ければかなりの作業量になる

◎その他

- ・少人数での作業が可能
- ・作業員が遊ぶ時間が少ない（ほぼ無い）
- ・プロセッサの待機時間によるボトルネックの問題が無い

2 デメリット

◎伐倒

- ・集材時の架線の位置を考えた伐倒が必要
- ・伐倒方向の目標を見失いやすい

◎集材

- ・伐倒木が重なりすぎると手前からの集材が困難となりタイムロス
- ・1か所に材が集まりやすく、自重機の移動、集材途中での材送りや造材が必要
- ・C T 500・T W 222 スイングの場合、架線の高さが取れず集材済みの材に引っ掛かりやすい
- ・径級に合わせた集材機械や方法の工夫が必要
- ・伐倒前に架線の位置決めが必要

◎造材

- ・集材途中での材送りや造材をする場合、ワイヤーに対する相当な注意が必要（C T 500 の構造上）
- ・広めの土場が必要
- ・C T 500・G P 532 プロセッサの造材能力に適さない径級の場合タイムロス

◎その他

- ・どの作業種にも個人の能力の差が出やすい
- ・条件が揃えばかなりの生産性が見込める
- ・測量・調査に人工がかなり掛かる
- ・搬出対象外になる立木（材積に入らない）が多いと、かなりのタイムロス

3 まとめ

- ・生産性を優先して考えるならば、かなり有効な作業方法
- ・スイングヤードの能力次第で、生産性が上下しやすい
- ・プロセッサの待機時間によるボトルネックの問題が解消され、現場での段取りがしやすい
- ・現場の地形や材積によって集材時の工夫が必要となるため、生産性を高めるにはある程度の経験が必要となる

低コスト造林試験地における生産性

単位:人

試験地	伐倒	造材	集材	山土場 運搬	人工	材積	m ³ /人・日
A-10	0.3	0.3	0.2	0.2	1.0	9.135	9.135
A-15	0.4	0.5	0.6	0.3	1.8	18.616	10.342
A-20	0.8	1.0	1.9	0.7	4.4	53.493	12.158
B-10	1.0	0.8	2.0		3.8	56.689	14.918
B-15	1.4	0.8	3.6		5.8	50.521	8.711
B-20	1.5	1.7	3.0		6.2	92.464	14.914
計	5.4	5.1	11.3	1.2	23.0	280.918	12.214

根羽村試験地における2残1伐列状間伐と帯状伐採事業費の1ha当たり試算比較表

想定 スギ53年生 600本/ha 材積450m³/ha

搬出方法 タワーヤード、プロセッサ、ハイロード方式

区分	項目	現行 2残1伐列状間伐 (33%間伐)	新提案 帯状伐採 (50%主伐)	備考
伐採の生産性	搬出量(利用量)	84 m ³	126 m ³	材積×0.8×0.7
	生産性	3.0 m ³ /人・日	12.0 m ³ /人・日	生産性に約4倍程度の格差有
	人工	28 人工	10.5 人工	
伐採経費	人件費	462,000 円	173,250 円	16,500 円/人
	機械使用料	151,200 円	226,800 円	1,800 円/m ³
	運賃	126,000 円	189,000 円	1,500 円/m ³
	諸経費	235,200 円	352,800 円	2,800 円/m ³
	計	974,400 円	941,850 円	
	搬出経費/m ³	11,600 円	7,475 円	計/搬出量(利用量)
	木材収入	672,000 円	1,008,000 円	8,000 円/m ³
木材収入	補助金	570,000 円	500,000 円	列6,785円/m ³ 帯3,968円/m ³
	収入計	1,242,000 円	1,508,000 円	
	木材収入/m ³	14,786 円	11,968 円	木材収入/搬出量(利用量)
還元金	還元金	267,600 円	566,150 円	木材収入-伐採経費
	還元金/m ³	3,186 円	4,493 円	
優位性		小	大	

根羽村試験地における普通苗とコンテナ苗の1ha当たり植栽試算比較表

植栽本数 現行ヒノキ 3,000本/ha植え 新提案ヒノキ 1,500本/ha植え

植栽方法 現行クワ普通苗 新提案ダブルコンテナ苗

区分	項目	現行クワ普通ヒノキ苗	新提案ダブルコンテナヒノキ苗	備考
植栽の効率性	植栽本数	3,000 本/ha	1,500 本/ha	
	生産性	180 本/人・日	340 本/人・日	効率性に約2倍程度の格差有
	人工	16.7 人	4.4 人	
植栽経費	人件費	275,000 円	72,794 円	16,500 円/人
	苗代	279,000 円	255,000 円	93 170
	現場運搬費	2,880 円	990 円	0.96
	諸経費	33,333 円	8,824 円	2,000 円/人工
	計	590,213 円	337,608 円	
優位性	植栽経費/本	197 円	225 円	植栽経費/植栽本数
		小	大	

注) 苗代単価 普通苗93円/本 コンテナ苗170円/本

現場運搬費 普通苗人力0.96円/本 コンテナ苗機械運搬0.66円/本

根羽村低コスト造林等導入促進事業の補助金算定

単位:円

区分	事業名	標準単価/ha	区域面積 (ha)	間接経費 係数	査定係数	標準経費 査定経費	補助率	補助金額	備考
更新伐	基金事業	594,600	2.35	1.31		1,830,000	0.65	1,189,500	
樹下植栽	直接支援事業	129,300	2.35	1.31	1.7	676,000	0.4	270,400	実際植栽本数 708本 標準単価 600本
		1,386,320	0.34	1.31	1.7	1,049,000	0.4	419,600	単木防護
獣害対策	直接支援事業	82,100	0.21	1.31	1.7	38,000	0.4	15,200	コニファー
		227,600	4.66	1.31	1.7	2,361,000	0.4	944,400	防護柵(単価は100m当たり)
計								2,839,100	

注)更新伐については、集約化施策計画に組み込まれていること。

植栽は区域を一体と捉えて、残存木と合わせて樹下植栽とする。

獣害対策の標準単価については、別紙単価表による。

樹下植栽・獣害対策の補助金合計は1,649,600円となる。

低コスト造林地実施面積内訳

単位:m²

区域	帯状幅(m)	面積	獣害対策
A	10	377	くくりわな
	15	615	コニファー
	20	1,434	サプリガード
	25	1,861	防護柵
	小計	4,287	
B	10	1,117	くくりわな
	15	1,488	コニファー
	20	1,969	サプリガード
	25	2,042	防護柵
	小計	6,616	
計		10,903	

獣害対策面積内訳

獣害対策	面積(m ²)	ha換算
くくりわな	1,494	0.15
コニファー	2,103	0.21
サプリガード	3,403	0.34
防護柵	3,903	0.39
計	10,903	1.09

造林事業における標準経費による地拵・植林から伐採までの1ha当たりの経費試算一覧表(通常)

内 容	標準単価	回数	必要経費	補助金額	備 考
地拵	546,300	1	546,300	486,644	笹、竹等
植林	596,900	1	596,900	531,719	ヒノキ 3,000本/ha
獣害対策	1,400,000	1	1,400,000	1,247,120	サブリガード740円/本×1,500本=1,110,000円 85本/日 1,500本/85本=17.6人工 17.6人×15,700円/日=276,320円 雑費一式 13,680円 計1,400,000円
下刈	119,500	10	1,195,000	1,064,506	2回/年×5年
除伐	162,100	1	162,100	144,399	不用木除去
間伐(保育)	105,000	3	315,000	280,602	伊那谷地域森林計画 間伐指針表 地位Ⅱスギ
間伐(生産)	541,500	1	541,500	482,368	架線系搬出 搬出材積60-70m ³ /ha 実際70m ³ /ha搬出×1回=70m ³ 搬出
主伐	2,400,000	1	2,400,000	0	皆伐経費 6,000円/ha×400m ³ /ha
計	5,871,300		7,156,800	4,237,357	間伐 木材収入 9,000円/m ³ ×70m ³ =630,000円 主伐 木材収入 9,000円/m ³ ×400m ³ =3,600,000円 計4,230,000円

注)標準単価は長野県「平成24年度 多様な森林づくりを目指して」による

造林事業における標準経費による地拵・植林から伐採までの1ha当たりの経費試算一覧表(低コスト)

内 容	標準単価	回数	必要経費	補助金額	備 考
地拵	546,300	0	0	0	笹、竹等
植林	383,500	1	383,500	341,622	コンテナ苗植栽 300本/日 ヒノキ 1,500本/ha 1,500本/300本=5.0人工 5.0人×15,700円/日=78,500円 コンテナ苗170円×1,500本=255,000円 運搬等一式 50,000円 計 383,500円
獣害対策	1,400,000	1	1,400,000	1,247,120	サプリガード740円/本×1,500本=1,110,000円 85本/日 1,500本/85本=17.6人工 17.6人×15,700円/日=276,320円 雑費一式 13,680円 計1,400,000円
下刈	119,500	10	1,195,000	1,064,506	2回/年×5年
除伐	162,100	1	162,100	144,399	不用木除去
間伐(保育)	105,000	2	210,000	187,068	伊那谷地域森林計画 間伐指針表 地位Ⅱスギ
間伐(生産)	541,500	1	541,500	482,368	架線系搬出 搬出材積60-70m ³ /ha 実際70m ³ /ha搬出×1回=70m ³ 搬出
主伐1 (带状伐採)	627,800	1	627,800	559,244	架線系搬出 搬出材積90-100m ³ /ha(事業適用区分) 実際200m ³ /ha
主伐2 (带状伐採)	627,800	1	627,800	559,244	架線系搬出 搬出材積90-100m ³ /ha(事業適用区分) 実際200m ³ /ha
計	4,513,500		5,147,700	4,585,571	間伐 木材収入 9,000円/m ³ ×70m ³ =630,000円 主伐 木材収入 9,000円/m ³ ×400m ³ =3,600,000円 計4,230,000円

注)標準単価は長野県「平成24年度 多様な森林づくりを目指して」による

地域密着型特別養護老人ホーム・デイサービス施設 概要をお知らせします

特養・デイサービス棟の設計ができました

年度当初の地区懇談会で報告させていただいた「根羽地域密着型特別養護老人ホーム並びにデイサービス施設」の設計概要(平面図)をお知らせします。

この高齢者福祉施設は、特養・ショートステイ(短期入所)・デイサービスの三つを一体化でサービスできる施設となっています。

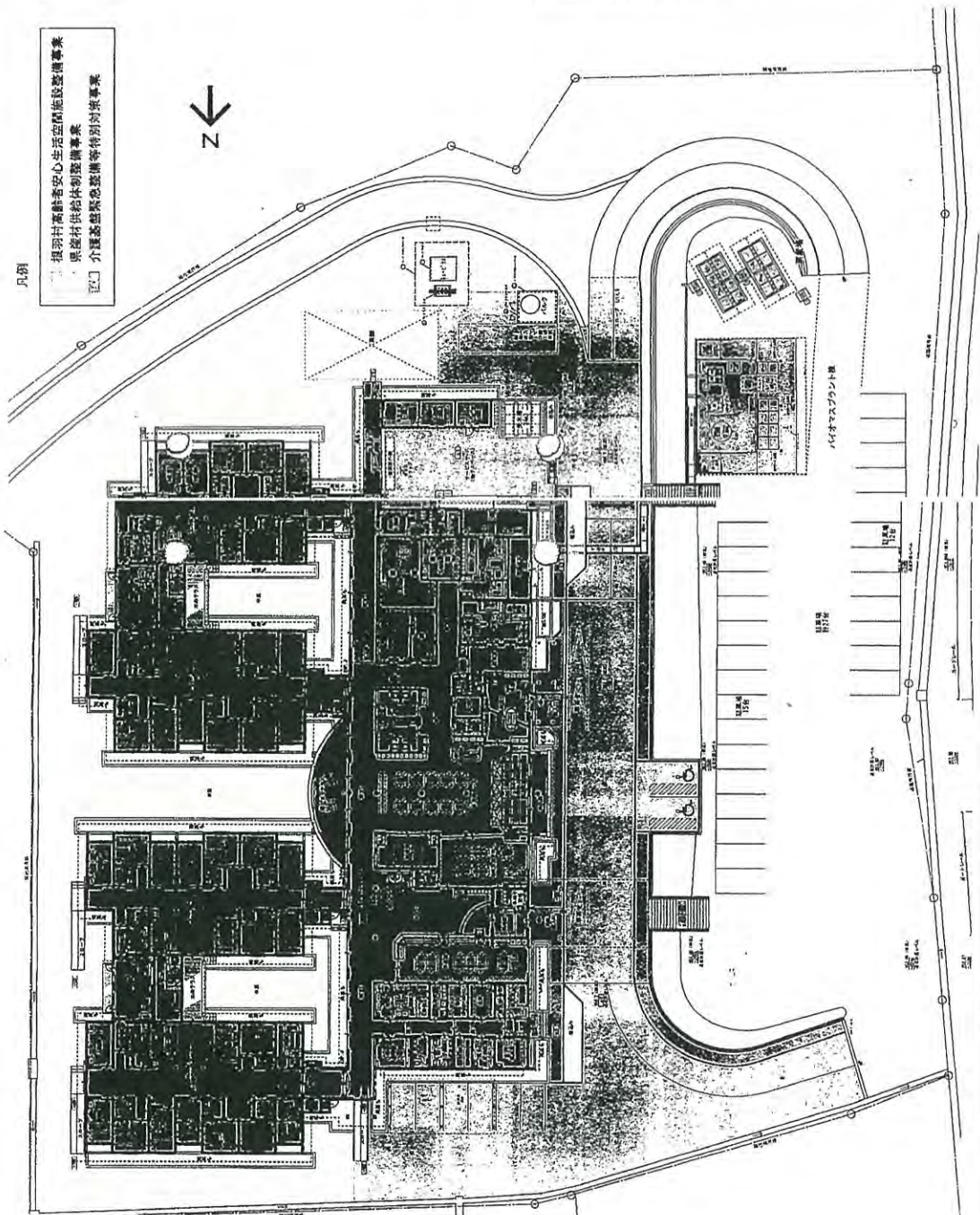
すべての構造材と可能な造作材は根羽村の地域材である杉・樟を使い木造平屋建て準耐火・バリアフリー構造で、地域材の良さと利用される方や訪問者の方にも喜ばせることができるよう設計されています。

デイサービス棟の延べ床面積は、一〇九一・六三㎡。
利用定員四十名、事務所や医務室、入浴、個室各施設を併設しています。

特養棟は、現在建設に向け設計を進めています。概要は個室でユニット方式の入所定員二十九名と四名の方がショートステイを利用できます。

施設の暖房や給湯は、主に木質バイオマス燃料とし、村内にある豊富な資源をエネルギーとして薪ボイラーを使用し、環境にも配慮しています。

工事施工予定等については、既に造成工事は、七月から九月に行い竣工しています。デイサービス棟の入札も九月末に行い、現在基礎工事に取り掛かっています。今年度中に木質バイオマス関係(薪ボイラー)の入札を行う予定です。特別養護老人ホームの建設は平成二十六年区当初に入札を行い、平成二十六年暮れには完成予定です。いずれの施設も平成二十七年春の開所をめざし建設を進めていきます。



老人福祉施設の名称を募集します

平成二十七年春に開所予定の、高齢者福祉施設の名称を次のように募集します。

- ・募集期限 平成二十六年一月十七日(金)
- ・応募対象 根羽村民に限る
- ・提出先 役場住民課

・応募用紙に住所氏名等を明記のうえ、封筒に入れ提出ください。

大勢の方の応募をお待ちします。
 なお、応募用紙は区量便で配布します。

根羽村地域密着型特別養護老人ホーム・デイサービス施設木材使用量内訳表

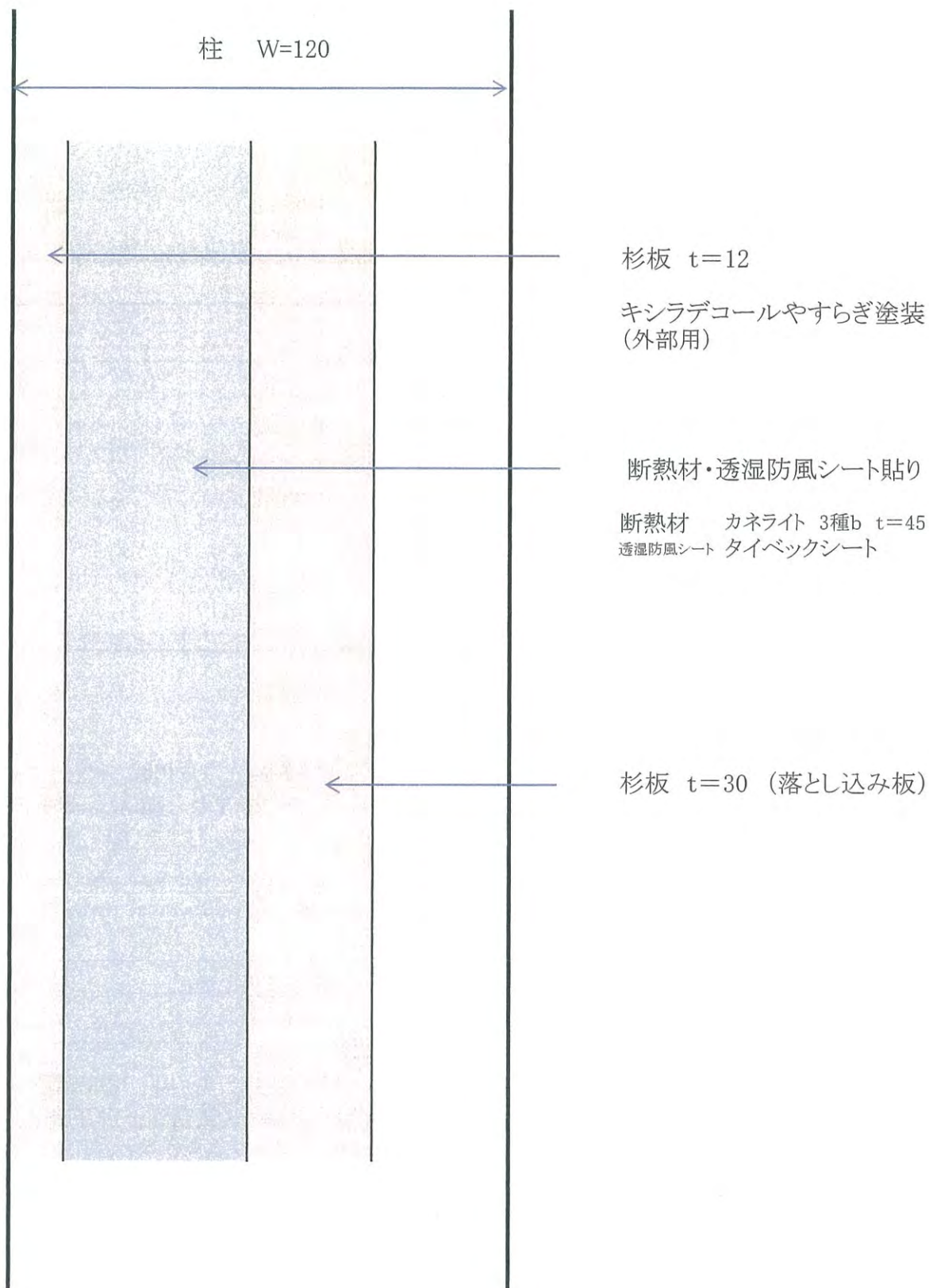
単位:m³

区 分	樹 種	材 積		計
		平成25年度 高齢者安心生活空間施設 デイサービスセンター (国道側の建物)	平成26年度 介護施設 特別養護老人ホーム (山側の建物)	
構造材	カラマツ	30.1887	3.366	33.5547
	スギ	71.5886	107.4112	178.9998
	ヒノキ	22.4491	18.1467	40.5958
	小計	124.2264	128.9239	253.1503
下地材	スギ	86.6941	96.5606	183.2547
	ヒノキ	0.2832	5.6234	5.9066
	小計	86.9773	102.184	189.1613
造作材	スギ	12.8528	30.2092	43.062
	ヒノキ	1.3734	4.1304	5.5038
	タモ		0.0148	0.0148
	小計	14.2262	34.3544	48.5806
羽目板	スギ	19.4491	7.8919	27.341
	ヒノキ	6.9502	24.0225	30.9727
	小計	26.3993	31.9144	58.3137
計		251.8292	297.3767	549.2059

設計:みずゞ設計

施行:吉川建設(株)

壁の仕上明細



屋根の仕上明細

